EXM-251
＊JZZ6422206A＊

LIXIL

取付説明書

樹ら楽 木彫タイプ・デッキDC

● 取付される方に必ずお渡しください。 掲載番号順に施工してください。
● 本製品は、安全に取付けるため専門業者様での施工をおすすめします。

■安全に関する記号と説明

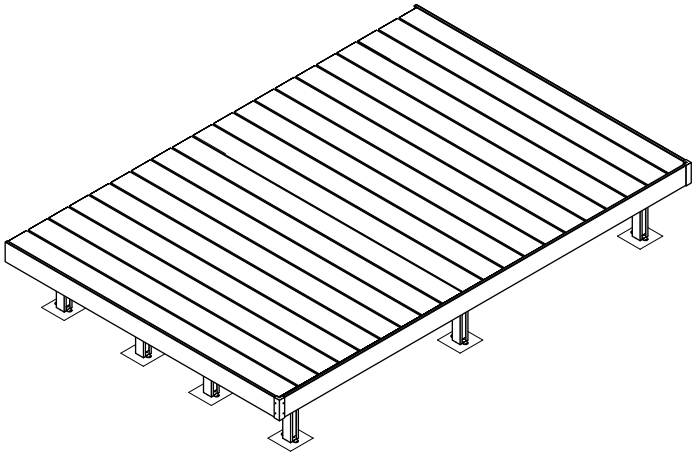
⚠ 注 意 ・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 注 意

●製品の破損によりケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・一般住宅以外に施工しないでください。
・安全を損なうような改造・変更をしないでください。
●ポイントライトは大引間には取りつけないでください。床板が破損し、ケガをするおそれがあります。

保管・施工前のお願い

●人工木材の反り・曲がり・伸び等の防止のため、以下事項を守ってください。
・直射日光を避けてください。
・立てかけず、平らな場所に仮置きしてください。
・高温になる場所(暖房機、焚き火等）の近くに仮置きしないでください。
・製品の上に重量物を置かないでください。
●部材の変形・劣化防止のため以下の場所には設置しないでください。
(常時水がかかる、熱排気が直接当たる、雪が直接落ちる)

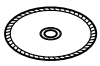


保管・施工前のお願い

●強度低下等の原因になるため、ねじは下記の締付けトルクで固定してください。
アルミ材へ固定の場合
φ4ねじ:1.5N・m φ5ねじ:3.0N・m
φ6ねじ:5.2N・m
人工木素材へ固定の場合
φ4：1.0N・m
人工木素材にねじ固定する場合は、
手締めで施工してください。

施工前に準備いただくもの

※下記項目は施工前に必ずご準備ください。

鋸刃 （バリ防止の為「木材縦びき用のチップソーで刃数の少ないもの」推奨）	
束石 サイズは10P参照	
砕石	
モルタル（セメントと砂）アルミなどの金属の腐食防止のため、以下の物は使用しないでください ・塩分を含む砂（海砂） ・塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤 （凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）	

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

	ページ	チェック内容	チェック欄
1	P10	指定の束石を埋め残し50mm以下で施工しましたか？	□
2	P12	束柱固定金具は、一部の束柱には束柱固定金具を2個使用します。必要数量と固定箇所を確認し、指定トルクで取付けましたか？	□
3	P20	床板を前後表裏ランダムに配置することで、自然な仕上がりを出しましたか？	□
4	P21	すべての床板の小口を１mm以上の面取りをしましたか？	□
5	P22	床板連結部と躯体とのすき間を指定の間隔で確保しましたか？	□
6	P24~26	幕板は指定のピッチ・すき間で取付けましたか？	□

INDEX

1 各部名称 …… 4
2 詳細納まり …… 5
2-1 幕板床板固定 間口方向納まり図（正面）…… 5
2-2 幕板床板固定 出幅方向納まり図（側面）…… 5
2-3 幕板大引固定 出幅方向納まり図（側面）…… 6
2-4 多段幕板 …… 6
2-5 サッシ納まり図 …… 7
3 基本寸法 …… 8
3-1 基本寸法 (代表例) …… 8
4 束柱・大引の施工 …… 9
4-1 基礎の施工 …… 9
4-2 束柱・大引の取付け …… 10
4-3 筋交いの取付け（オプション） …… 15
4-4 筋交いの施工例（オプション） …… 16
4-5 床板補強材の取り付け（オプション）…… 17
5 土間施工 …… 18
6 床板の施工 …… 19
6-1 幕板取付材の取付け …… 19
6-2 床板の取付け …… 20
6-3 床板の上止め …… 22
7 幕板の施工 …… 24
7-1 正面幕板取付けの準備 (床板固定用) …… 24
7-2 側面幕板取付の準備（床板固定用・大引固定用）…… 25
7-3 幕板の加工（床板固定用・大引固定用）…… 26
7-4 幕板の取付け（床板固定用・大引固定用）…… 27
8 隅切り施工 …… 30
8-1 床板取付上の注意 …… 30
8-2 補助根太の取付け（オプション） …… 31
8-3 フリーコーナーの幕板の取付け …… 32
9 オプション …… 34
9-1 くり貫き部幕板の取付け（オプション） …… 34
9-2 躯体付けアングルの取付け（オプション） …… 36
9-3 床板キャップの取付け（オプション） …… 37
9-4 躯体隙間塞ぎ材（オプション） …… 37
9-5 ポイントライトの取付け（オプション） …… 38
10 施工後の補修 …… 39
10-1 床板の補修 …… 39
10-2 横止め部品の付替え（オプション）…… 39
11 梱包明細表 …… 40

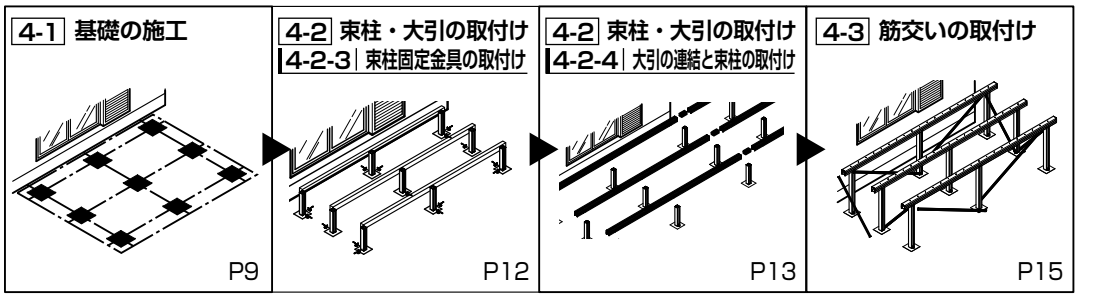
施工の流れ

※本ページでは、施工の基本的な手順を示しています。
作業を始める前に、必ず該当ページの内容を十分にご確認ください。

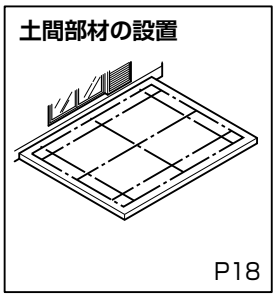
束柱・大引の施工 P.9

※スロープを施工する際は基礎・束柱・大引の施工前に実施する作業があります。

▼ 束柱仕様の場合 ▼ P9～

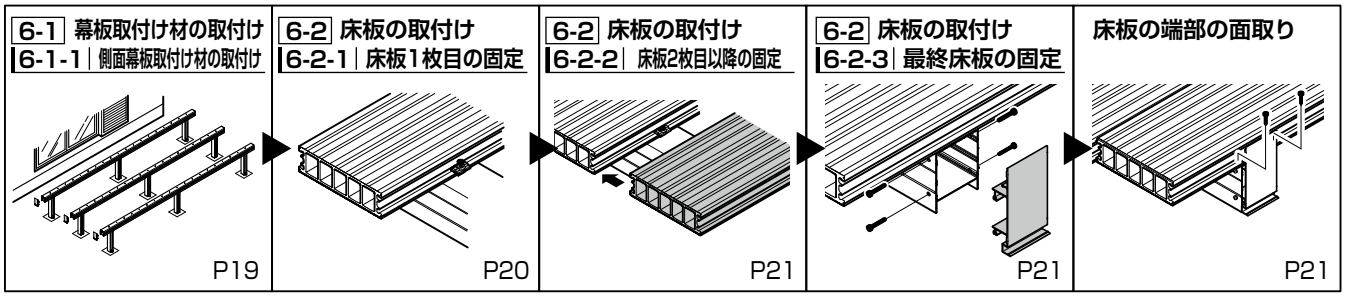


▼ 土間仕様の場合 ▼ P18

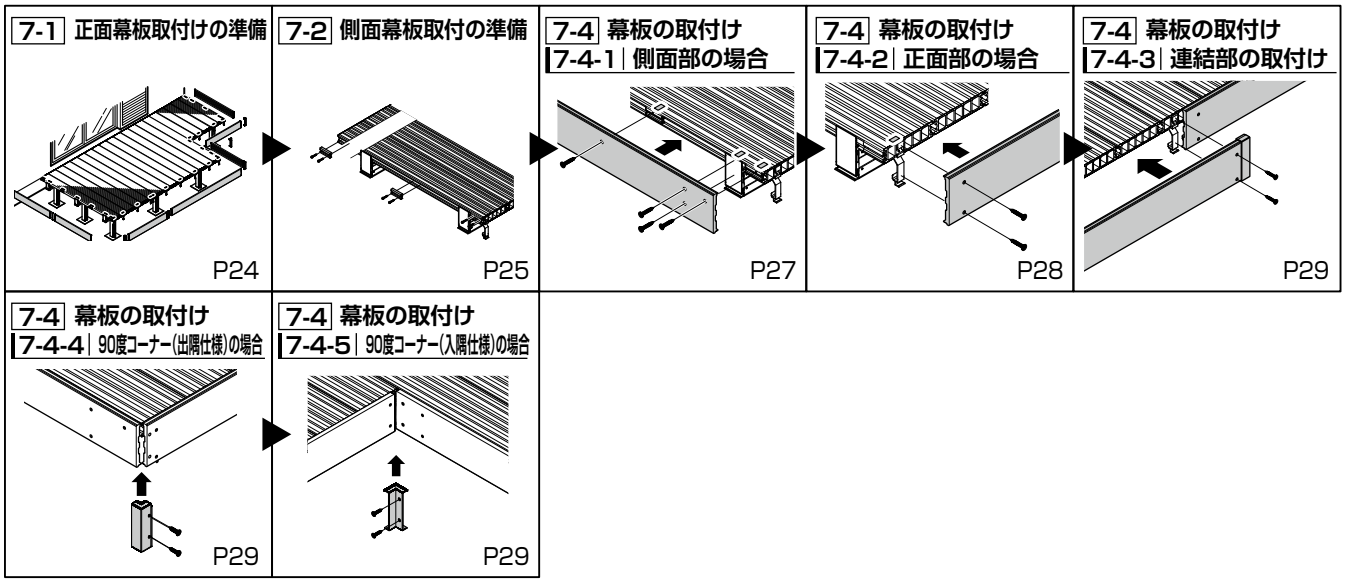


床板の施工 P.18～

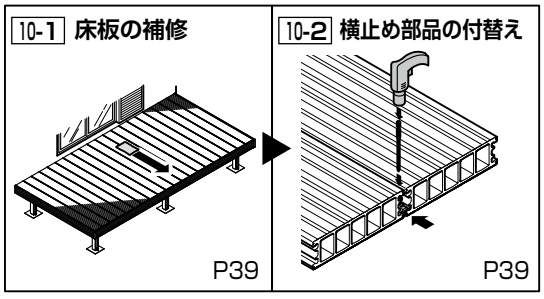
※デッキフェンス、点検口・収納蓋を施工する際は床板の施工前に実施する作業があります。



幕板の施工 P.24～

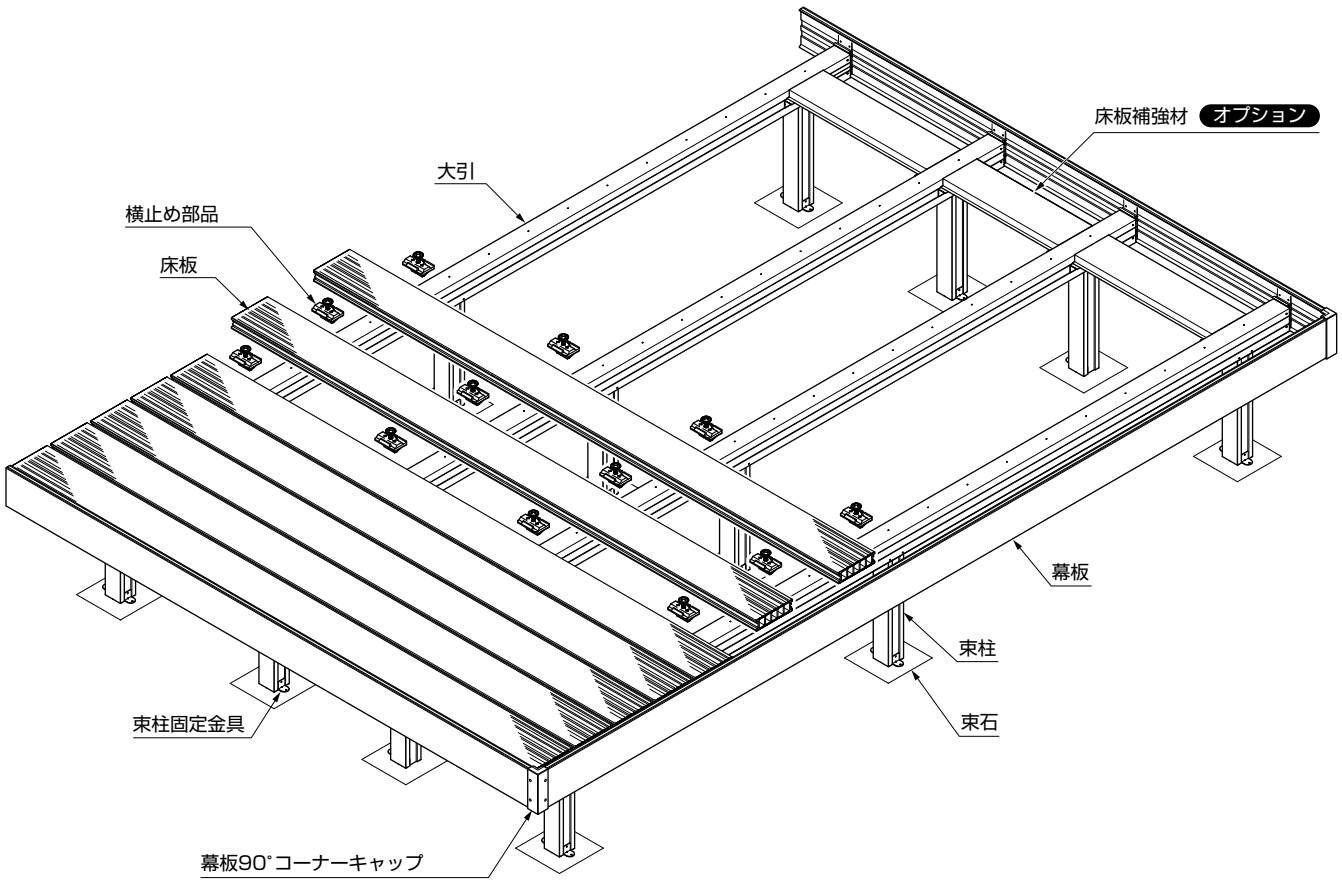


施工後の補修 P.39



EXM-251_202603

1 各部名称



施工を始める前に

この取付説明書では、以下のような記号、記載を使用しています。

■情報に関する記号と説明

⚠ 注 意	・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
施工上のお願い	・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
補足	・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

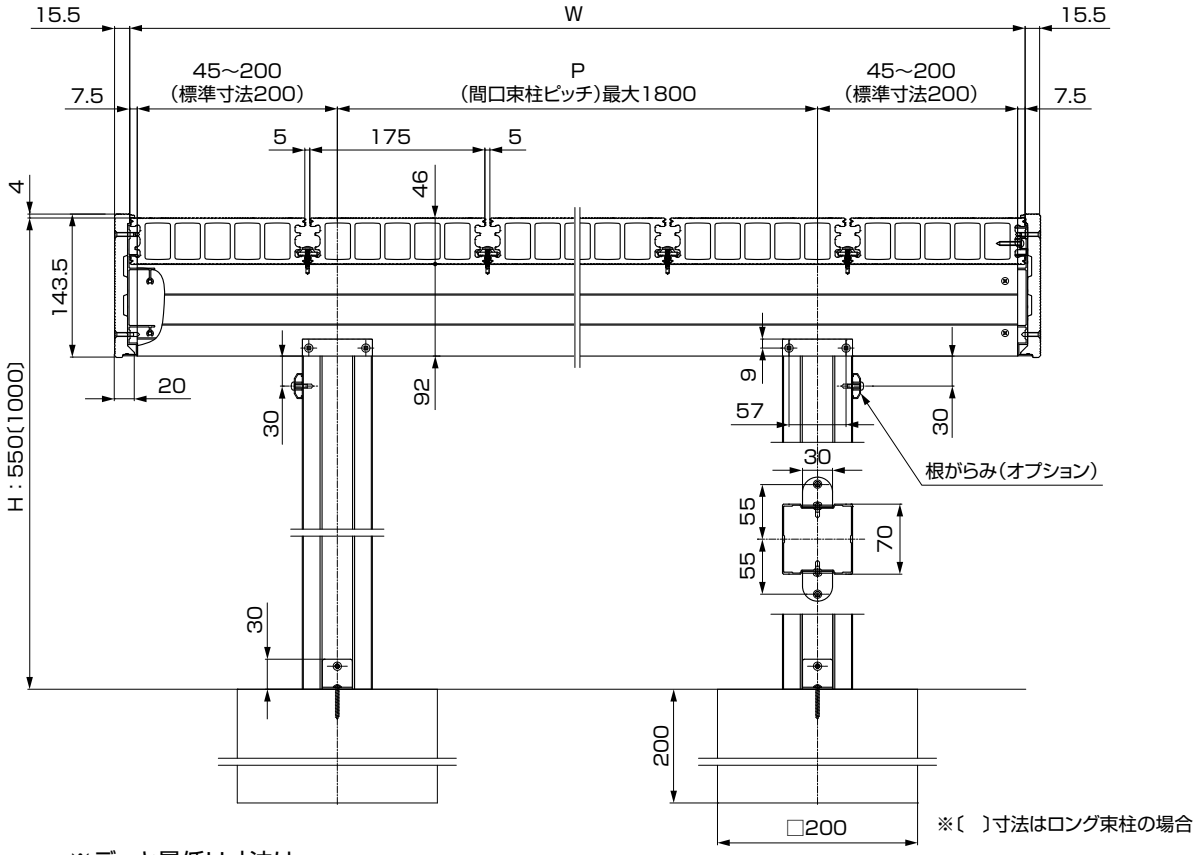
■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示してます。（例：1a、1b、2a等）
締結部品の種類は「**■ 梱包明細表**」を参照してください。

2 詳細納まり

2-1 幕板床板固定 間口方向納まり図（正面）

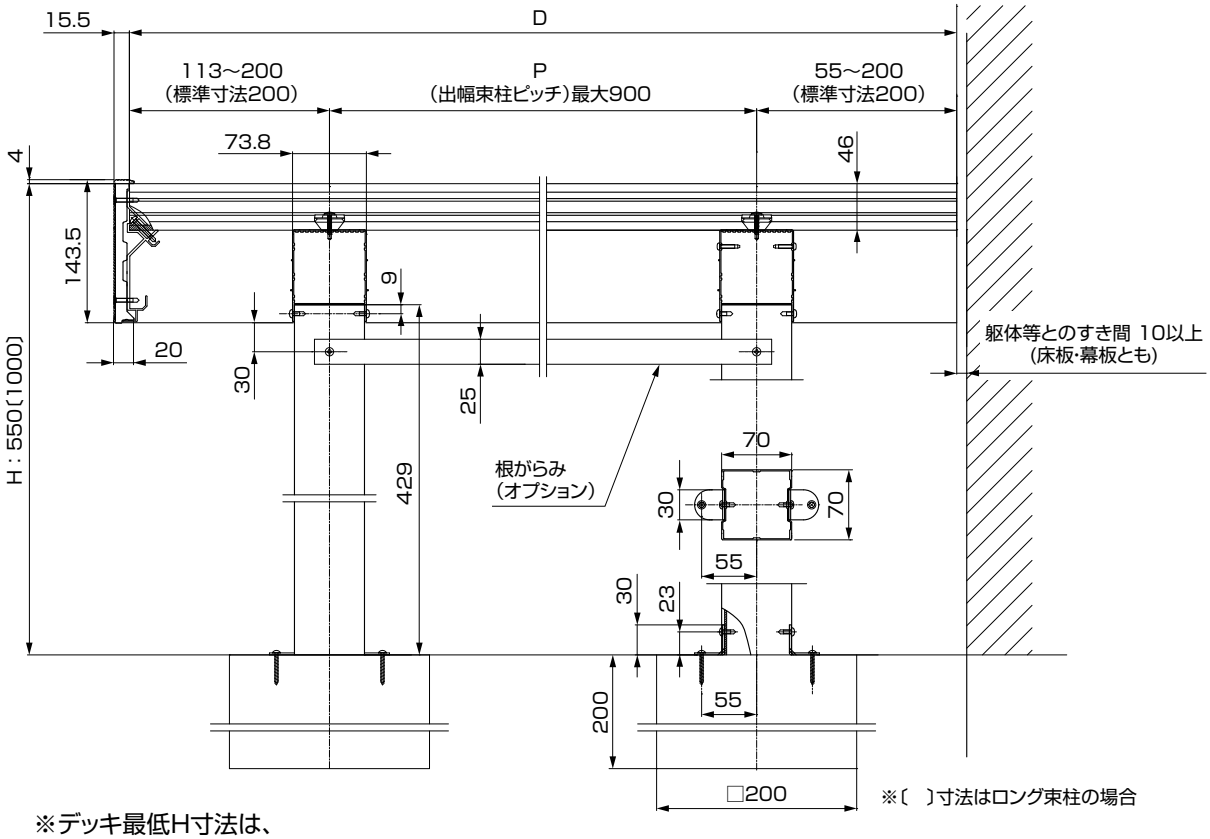
※本紙は木彫タイプの場合を示します。



※デッキ最低H寸法は、
束柱A:170mm、束柱B:403mm （ロング柱B:853mm）
束柱Bの場合、切り詰加工によって以下の寸法まで可能です。373mm（ロング柱B:823mm）

2-2 幕板床板固定 出幅方向納まり図（側面）

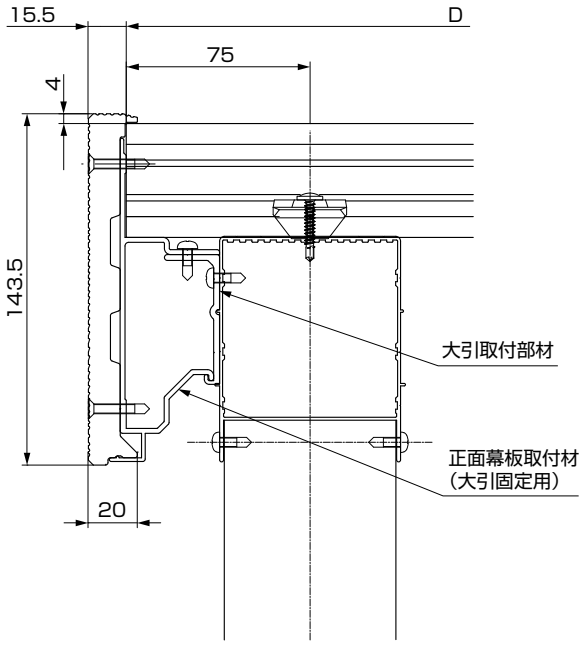
※本紙は木彫タイプの場合を示します。



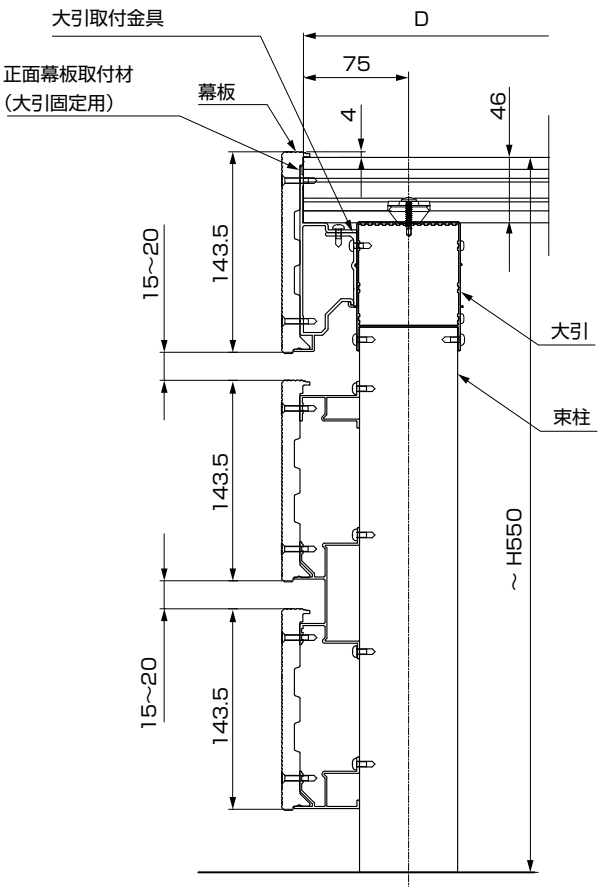
※デッキ最低H寸法は、
束柱A:170mm、束柱B:403mm （ロング柱B:853mm）
束柱Bの場合、切り詰加工によって以下の寸法まで可能です。373mm（ロング柱B:823mm）

2 詳細納まり

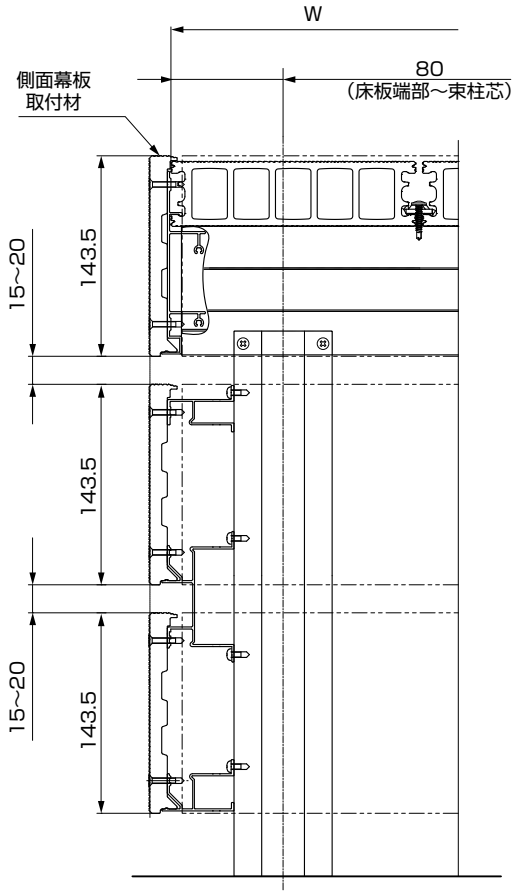
2-3 幕板大引固定 出幅方向納まり図（側面）



2-4 多段幕板



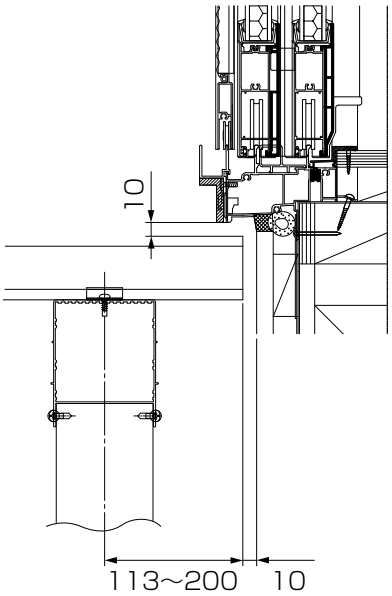
【側面】



【正面】

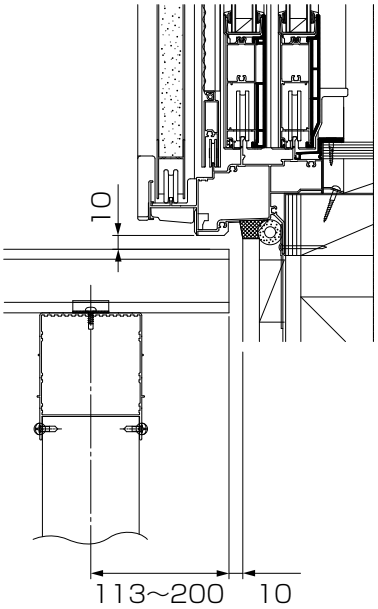
2-5 サッシ納まり図

●住宅サッシ



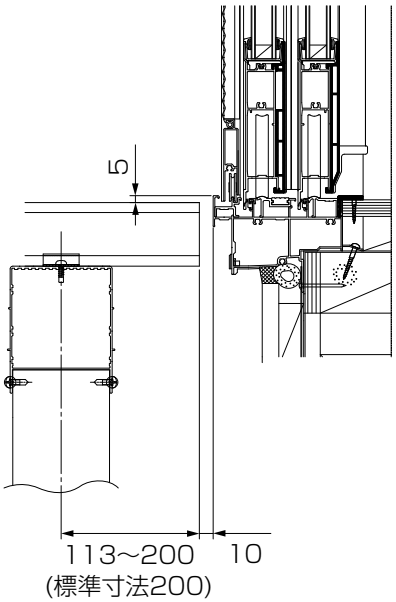
(標準寸法200)

●雨戸サッシ



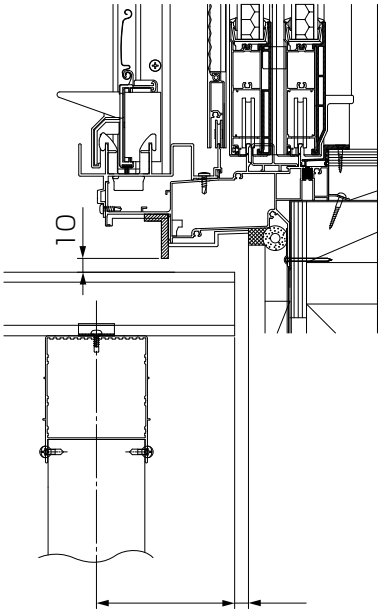
(標準寸法200)

●住宅フラットサッシ



(標準寸法200)

●シャッター



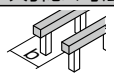
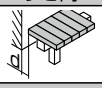
(標準寸法200)

3 基本寸法

基本寸法図へ▶

3-1 基本寸法(代表例)

施工上のお願い

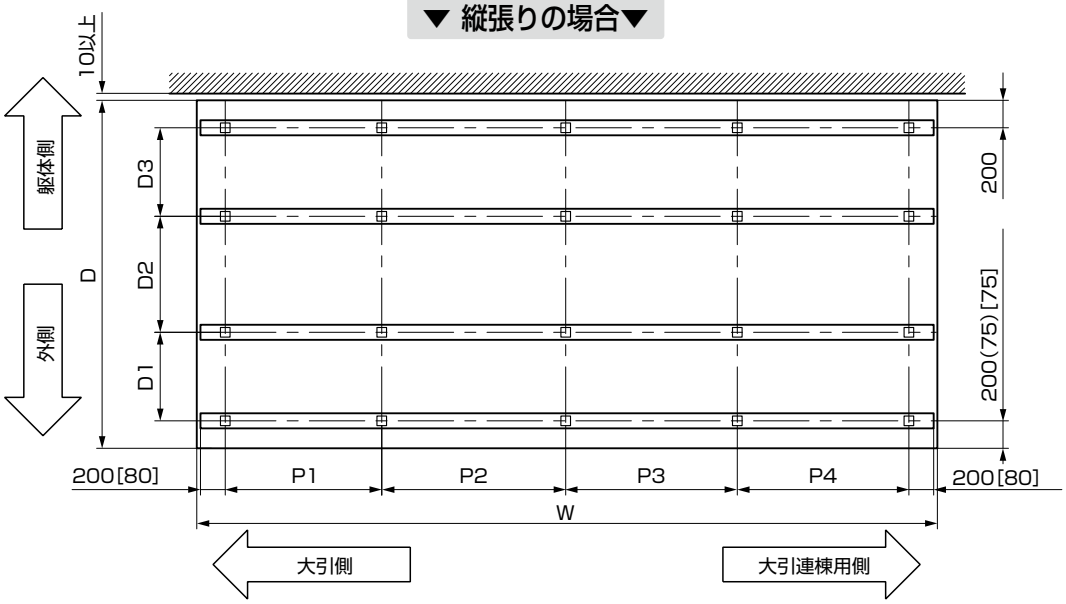
間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

●束柱の芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
●大引の芯々寸法は900mm以内にしてください。
●床板の張出し寸法は、大引の芯から200mm以内にしてください。
●床板と躯体等は10mm以上すき間をあけてください。
●縦張りの場合、間口3.0間以上で大引の連結が必要になります。
●横張りの場合、出幅15尺以上で大引の連結が必要になります。

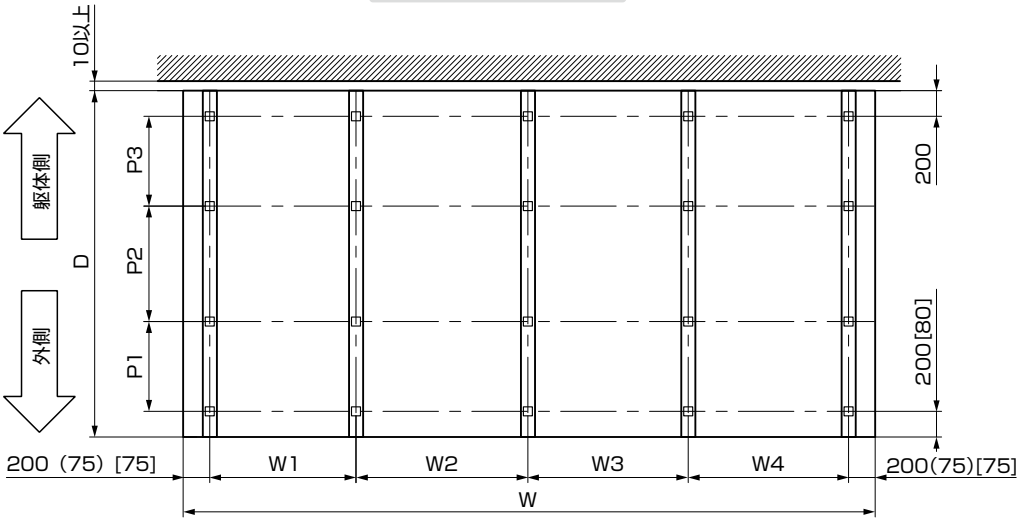
施工上のお願い　つづき

●大引の連結部は、必ず束柱を取付けてください。
●床板を長さ方向に連結する場合は、2700mm以内の床板を使用してください。
●(　　)寸法は、幕板を大引固定する場合の寸法です。
●[　　]寸法は、多段幕板の場合の寸法です。

▼ 縦張りの場合▼



▼ 横張りの場合▼



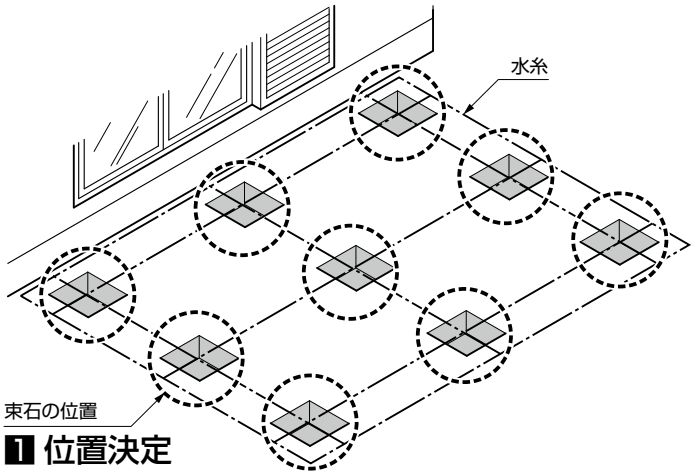
4 束柱・大引の施工

4-1 基本の施工

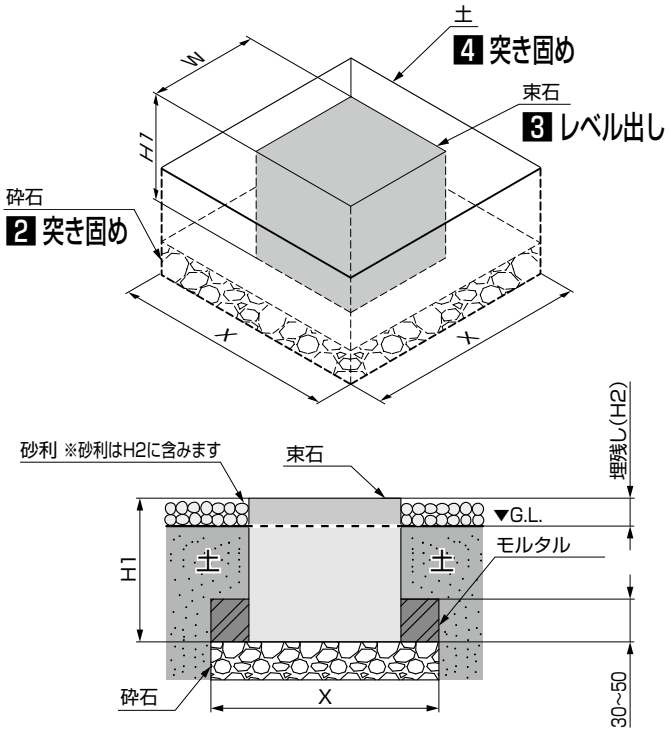
施工上のお願い

- ●土間施工の場合は「5 土間施工 (P18)」を参照してください。
- ●スロープを施工する場合は、スロープ取付説明書〈E366〉を合わせて参照し、確実に施工してください。
- ●束石は必ず指定サイズのものを使用してください。
- ●指示通りの施工を行なわないと基礎の浮き沈みや、床板の反りの原因になります。
- ●埋残し寸法(H2)は必ず守ってください。砂利を敷く場合は、砂利の厚さもH2に含みます。

1 デッキが躯体から10mm離れるように位置を決める
2 指定位置に穴を掘り、砕石を敷き突き固める
3 束石を設置し、レベルを出す
4 掘った土を束石の周りに埋め戻し、突き固める



1 位置決定



●束石寸法表

束石サイズ	W	H1	埋残し(H2)	X	重量
□200×H200	200	200	50mm以下	300	18kg以上
□200×H180	200	180	50mm以下	300	16kg以上
□190×H190	190	190	50mm以下	290	15kg以上
□300×H100	300	100	全埋込み	400	20kg以上

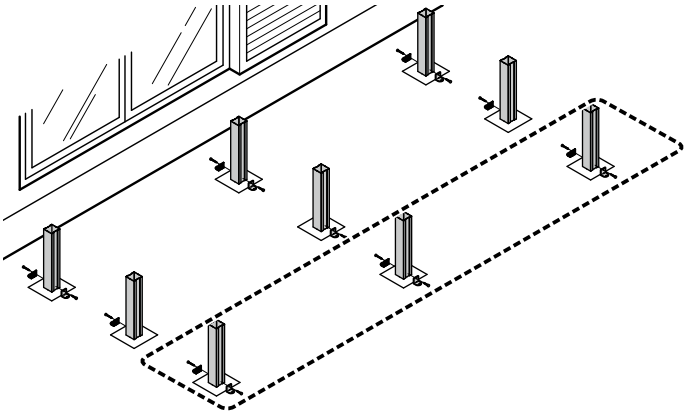
4-2 束柱・大引の取付け

4-2-1 束柱の加工

施工上のお願い

- ●土間施工の場合は、「5 土間施工 (P18)」を参照してください。
- ●スロープを施工する場合は、スロープ取付説明書を合わせて参照し、確実に施工してください。
- ●H(デッキ上面高さ)は最大550mm(ロング1000mm)、最小170mmです。(※1)
- ●束柱Bは高さ調整式で、調整寸法は147mmです。
- ●束柱Bの切断は、柱下部側の下面方向ならびに柱上部側の上面方向より、同寸法で行ってください。
- ●束石をG.L.面より出す場合は、束石の高さ(※2)を考慮して切断してください。

1 H寸法(デッキ上面高さ)を決定
2 束柱を切断

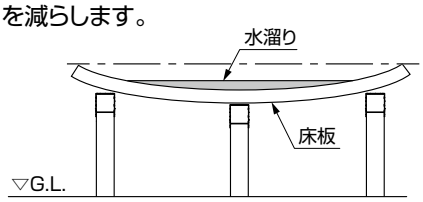


補足

- ●人工木の表面は水をほとんど吸わないため、わずかな反りの部分に、降雨などで水溜りができる場合があります。
  樹ら楽 木彫タイプ・デッキDCは溝部にも水が溜るため、目立つ傾向があります。
- ●特に施工直後は水をはじきやすいため、水溜りが大きくなることがあります。

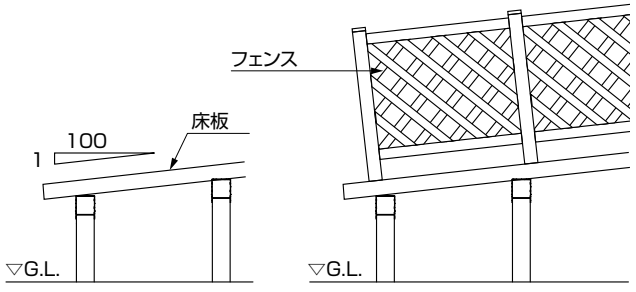
※上記の内容は人工木の特性上、避けきれませんが施工時の配慮で低減することができます。

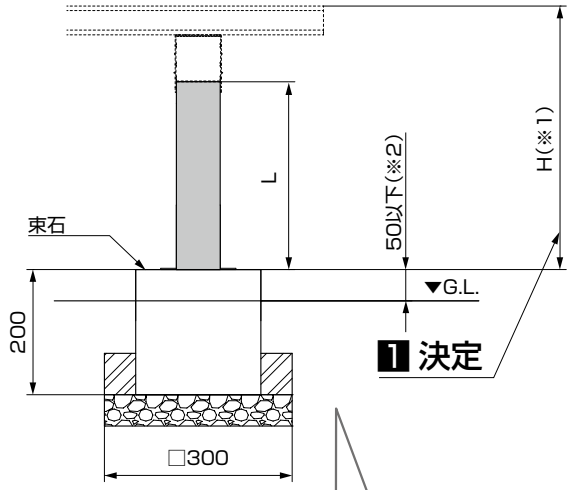
- ●床板の中央部を下がらないようにすることで、床板中央部の水溜りを減らします。



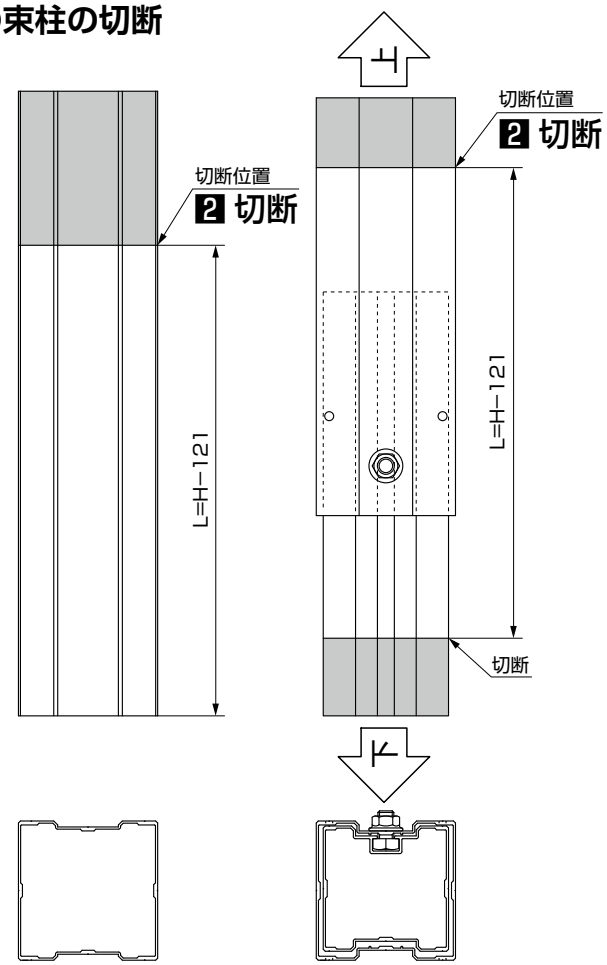
- ●床板に水勾配(1/100)をつけることで、水を積極的に流すことができます。

※フェンスを取付ける場合、G.L.に対してフェンスが斜めになります。あらかじめご了承ください。





●束柱の切断



束柱固定金具2個固定 補足説明書へ▶

4-2 束柱･大引の取付け

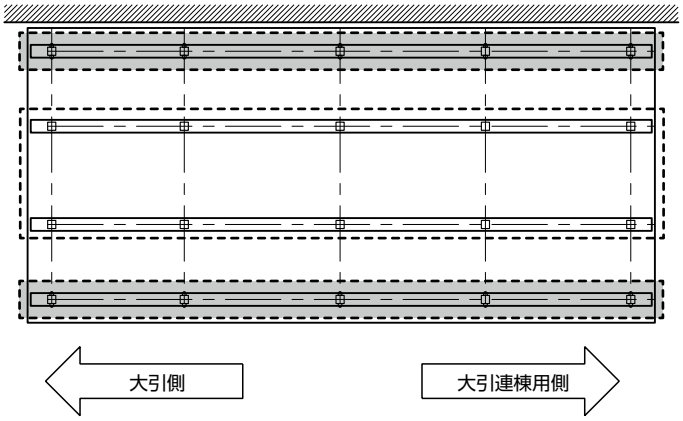
4-2-2 各束柱の束柱固定金具使用数の確認

施工上のお願い

- ●束柱固定金具を2個使って固定する束柱は、デッキ本体の両端にある大引に取付ける束柱が対象です。
- ●束柱A、束柱Bでは、束柱固定金具の柱への取付け位置が異なります。
- ●束柱固定金具は隣り合う柱に対し交互に取り付けてください。
- ●異形などの床板を切断して取り付ける場合､切断小口に近い大引の束柱にも束柱固定金具を2個使って束石または土間に固定します。
  詳細は二次元コードを読み取り、『EXM-256 人工木デッキ 束柱固定金具2個固定について 補足説明書』をご確認ください。

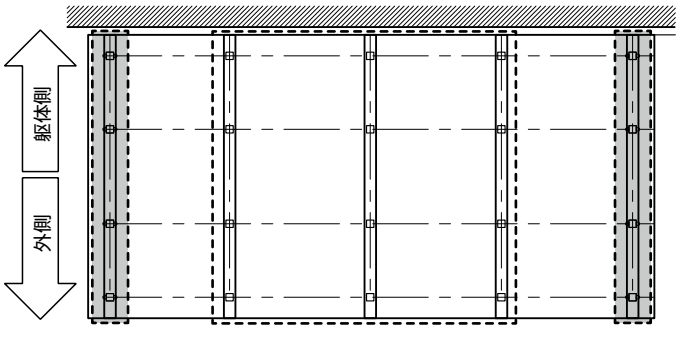
❶ 束柱の向き、束柱固定金具の取付数を確認

▼ 縦張りの場合▼



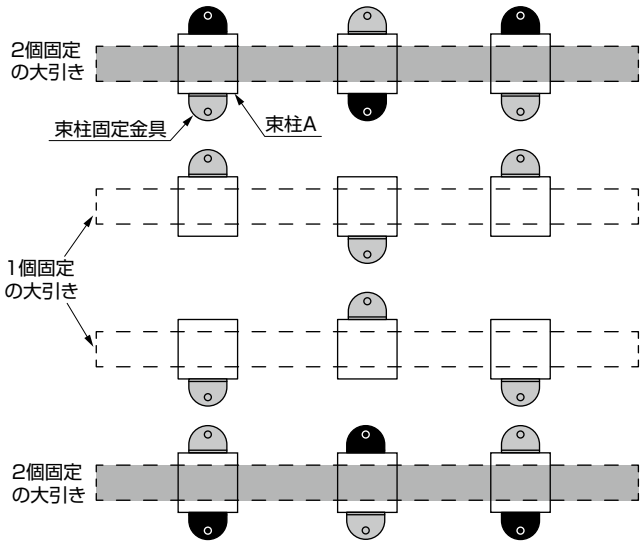
：束柱1本につき束柱固定金具2個で固定する大引
：束柱1本につき束柱固定金具1個で固定する大引

▼ 横張りの場合▼

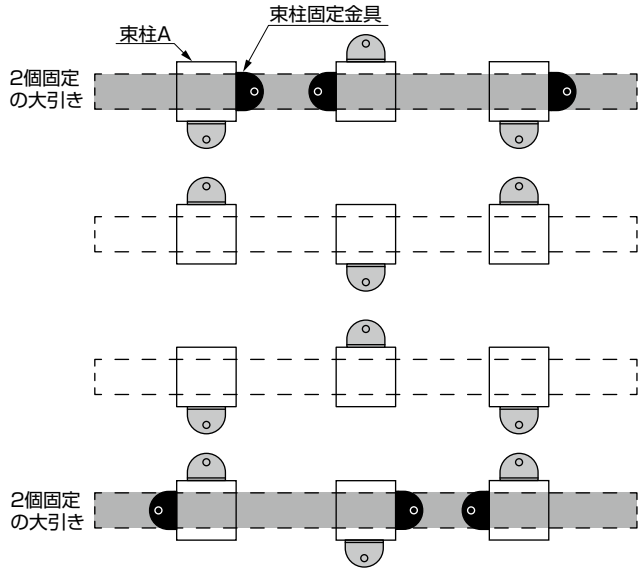


：束柱1本につき束柱固定金具2個で固定する大引
：束柱1本につき束柱固定金具1個で固定する大引

●束柱A 束柱固定金具 配置例



●束柱B 束柱固定金具 配置例



※束柱Bに2個目の金具を取り付ける際は、
必ず1個目の金具の90度の面に取り付けてください。
※束柱Bに1個目の金具を取り付ける際は、
内側の束柱固定ナット取付面の反対側の面に取り付けてください。

束柱固定金具2個固定 補足説明書へ▶

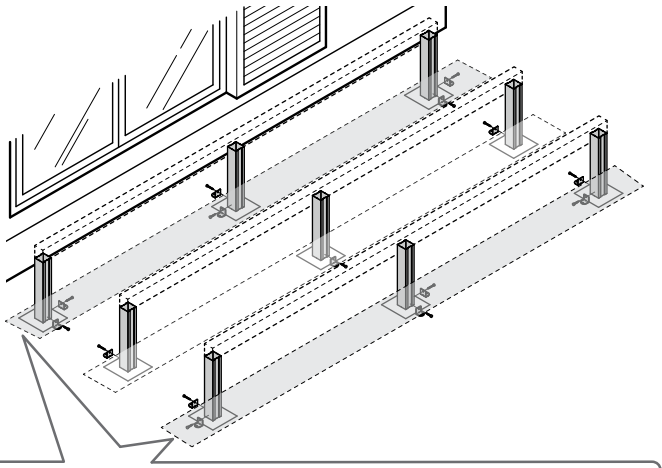
4-2 束柱・大引の取付け

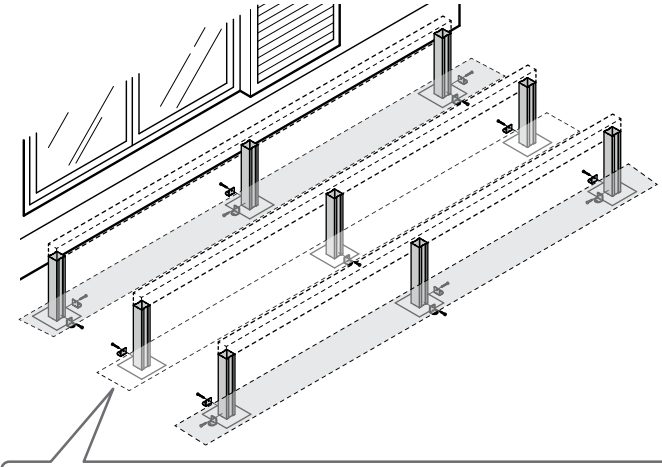
4-2-3 束柱固定金具の取付け

施工上のお願い

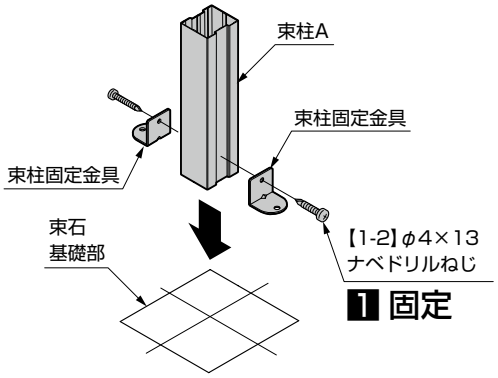
- ●束柱固定金具は柱によって使用数が異なります。
- ●束柱Bはナットを緩め、内側の束柱をスライドさせて表へ出し、ナット(※)を仮締めして、内側の束柱が下になるように取付けてください。
- ●束柱Bのナット取付面には束柱固定金具を取り付けることはできません。
  束柱Bを180°回転させて束柱固定金具が互い違いになるように固定してください。

1 束柱の向き、固定金具の数を確認し、ねじで固定。

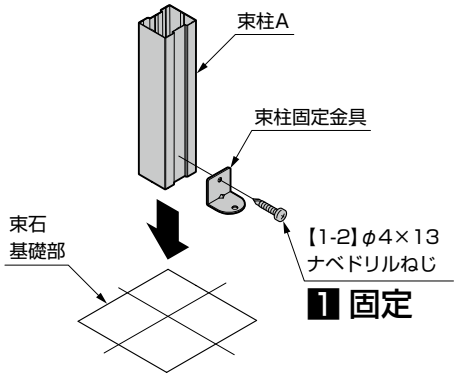




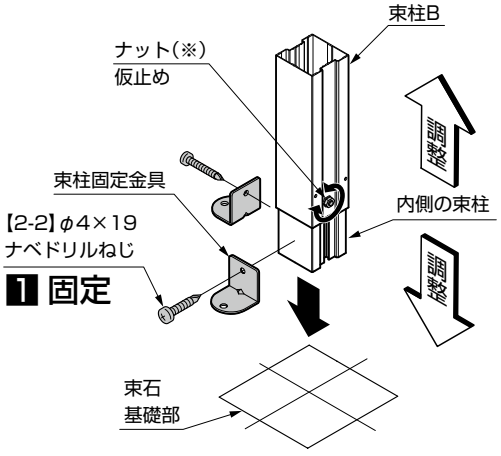
●束柱A 束柱固定金具2個固定の場合



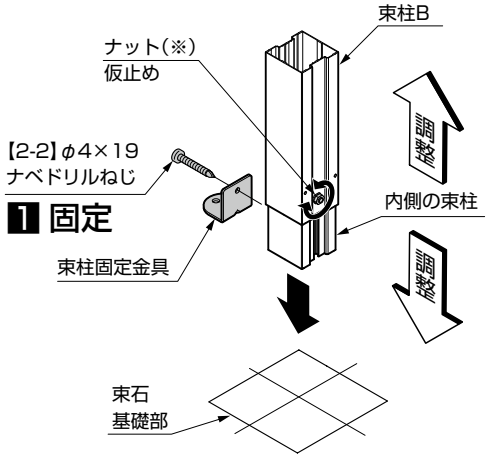
●束柱A 束柱固定金具1個固定の場合



●束柱B 束柱固定金具2個固定の場合



●束柱B 束柱固定金具1個固定の場合



4-2 束柱･大引の取付け

4-2-4 大引の連結と束柱の取付け

施工上のお願い

- ●施工プランによっては、大引の切断が必要になる場合があります。各取付説明書をご確認ください。
- ●大引の連結部は、束柱の中央上部で突き合わせて固定してください。
- ●大引スリーブ材の上下を確認してから、組付けてください。

▼大引連結する場合はここから▼

1 連結する大引端部にφ4.5の穴加工
（大引スリーブ固定用：V溝に端部から50mm 両面４か所、束柱固定用：V溝に端部から28.5mm 両面2か所）

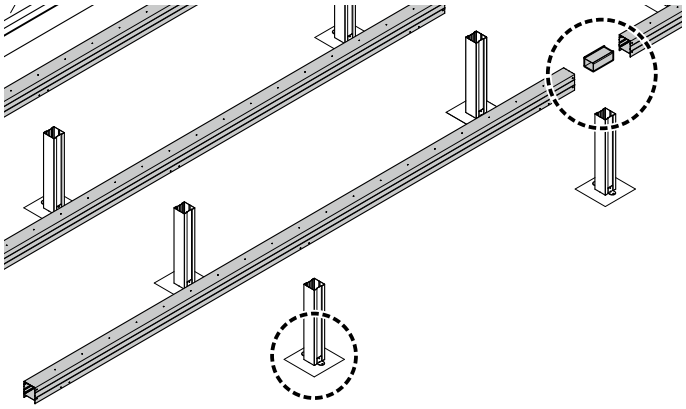
2 大引スリーブを大引に挿入し、**1**で開けた端部から50mmの穴に【6-1】で固定

▼大引連結しない場合はここから▼

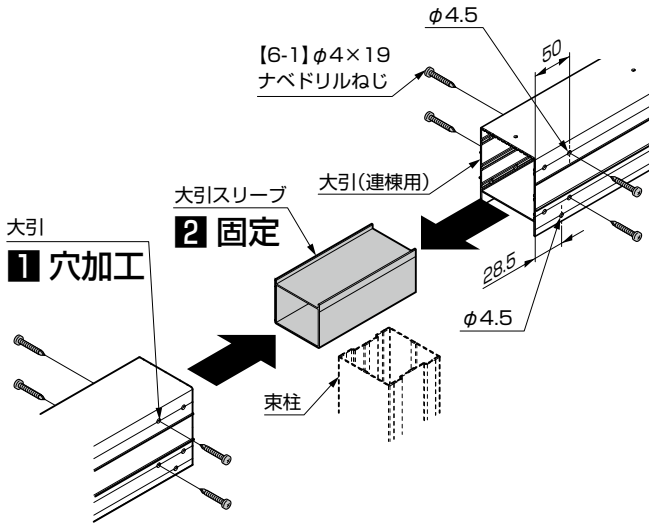
3 束柱Aは【1-2】、束柱Bは【2-2】で大引をV溝に合わせ固定

4 束柱Bはナットを緩め、高さを調節し、水平・直角を確認した後ナットを本締め

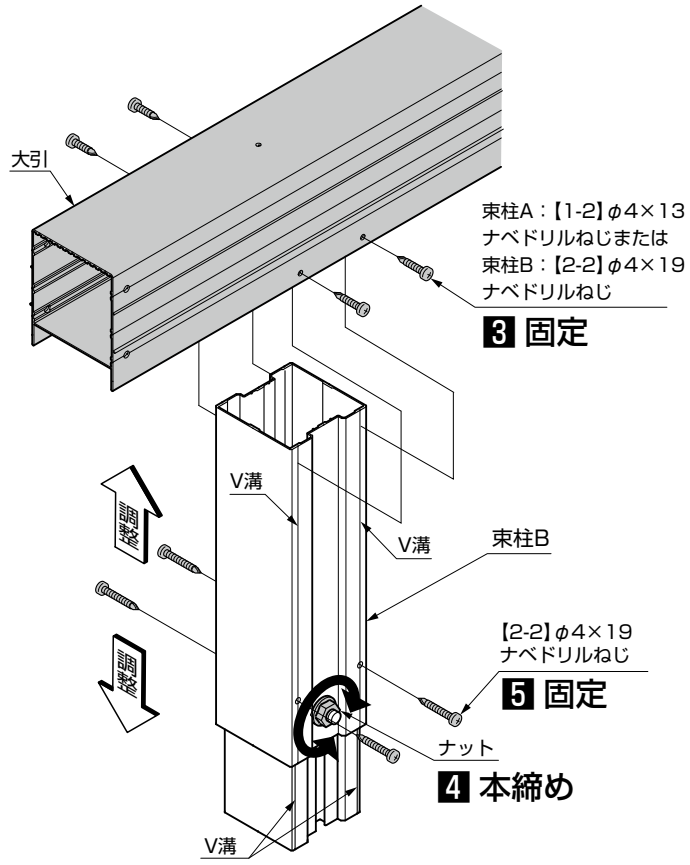
5 束柱BをV溝に【2-2】で固定



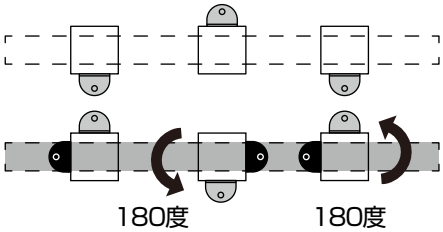
●大引の連結



●束柱の取付け



※隣り合う束柱の束柱固定金具が互い違いになるように束柱を固定してください。
束柱Bの場合、束柱ごと180度回転させて取り付けてください。

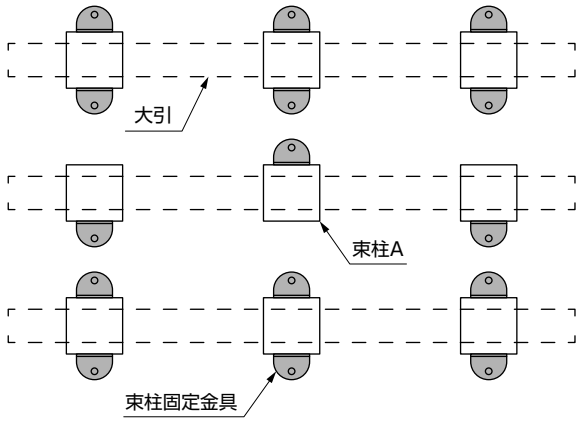


4-2 束柱･大引の取付け

4-2-5 束柱の基礎への固定

施工上のお願い

- ●束石または基礎部分への下穴φ4.3は正確に開けてください。
- ●穴に残ったカスは充分清掃してください。
- ●束柱と束石の固定は、基礎部材の水平・直角等を確認後に行ってください。
- ●多段幕板、メッシュ囲いを施工する場合は、根がらみを内側に取付けるか、または多段幕板、メッシュ囲いの施工の前に根がらみを取外してください。
- ●束柱固定金具の向きを確認してください。

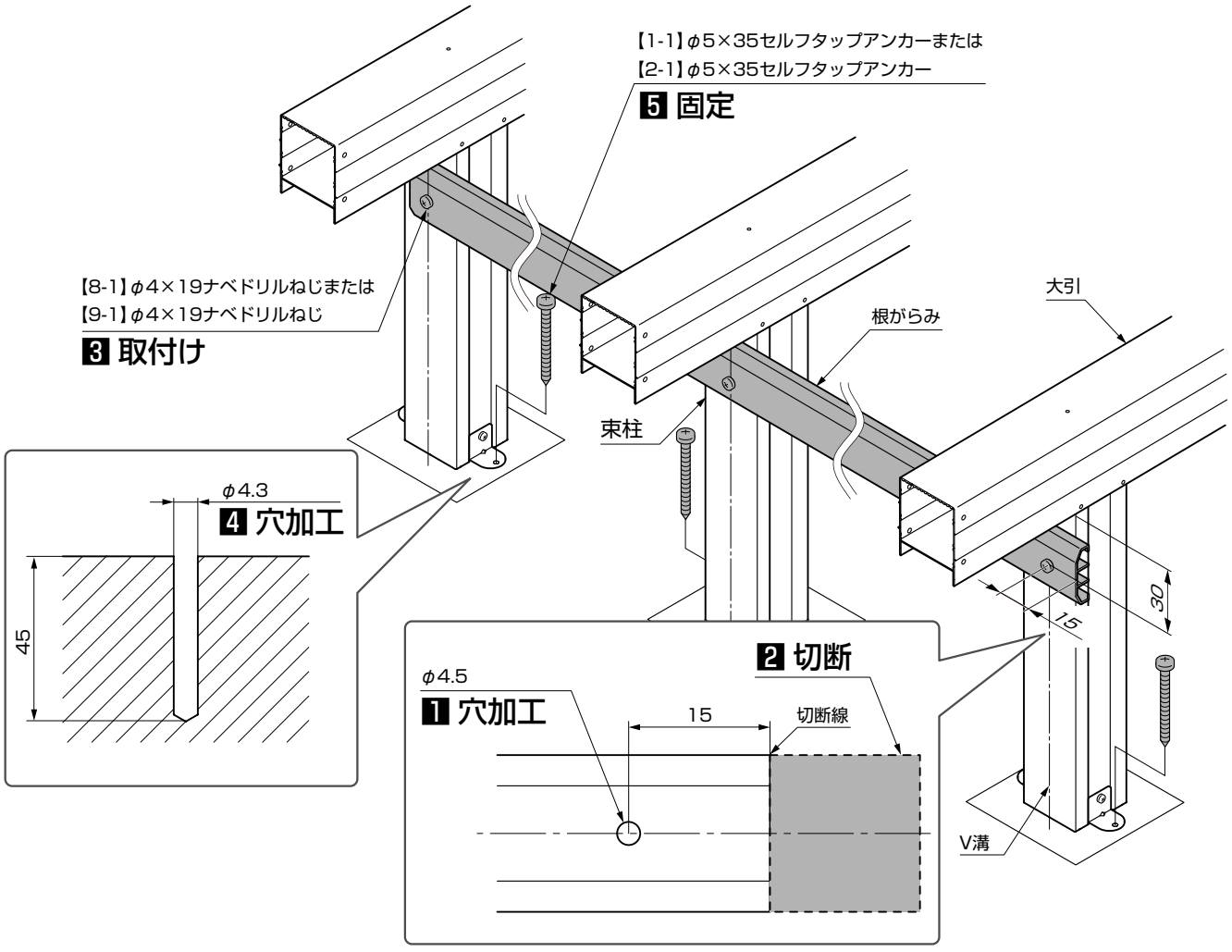


▼根がらみを使用する場合はここから▼

1. 大引ピッチに合わせ根がらみにφ4.5の穴加工
2. 根がらみを端部の穴から15mmの位置で切断
3. 束柱のV溝に合わせ根がらみを束柱の上端から30mmの位置に、【8-1】または【9-1】で取付け

▼根がらみを使用しない場合はここから▼

4. 束石または基礎部にφ4.3で深さ45mmの下穴加工
5. 束柱固定金具を束石または基礎部に【1-1】または【2-1】で固定

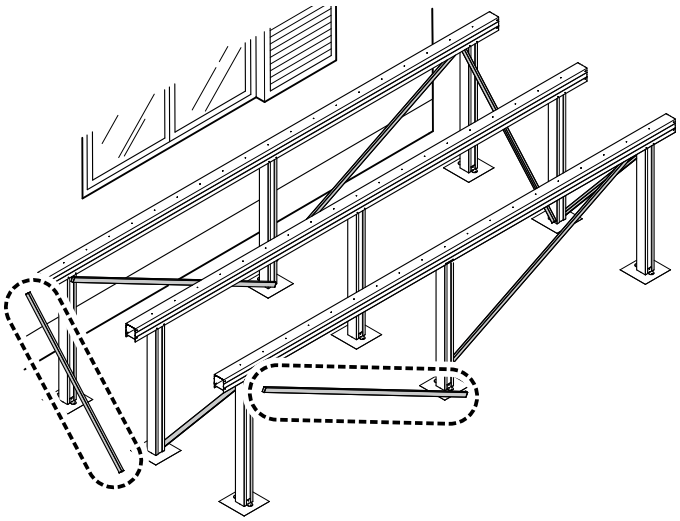


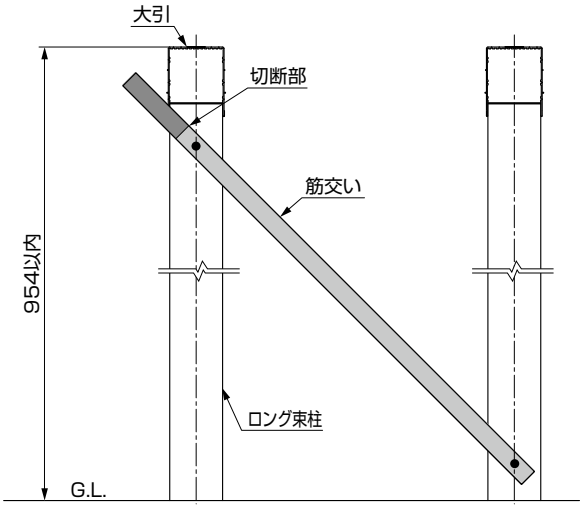
4-3 筋交いの取付け オプション

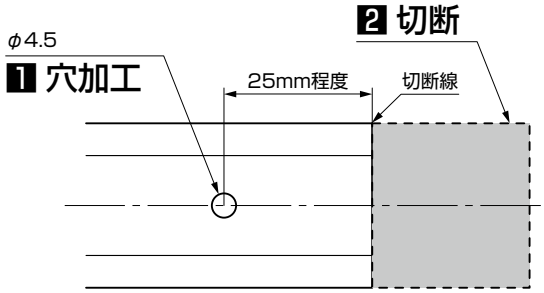
施工上のお願い

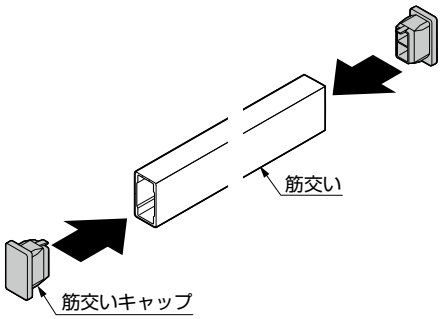
●筋交いの取付けは、「4-4 筋交いの施工例」を参考に施工してください。

1 筋交いにφ4.5の穴加工
2 取付位置を確認し、ロング束柱からはみ出さないように25mm程度残して切断
3 筋交いキャップを筋交いの両端に押し込んで取付け
4 筋交いをロング束柱に【7-1】で取付け

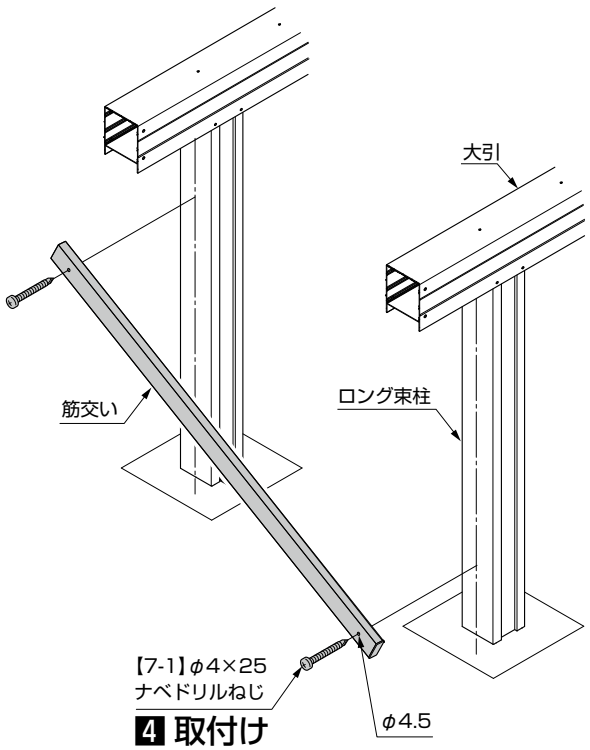








3 取付け



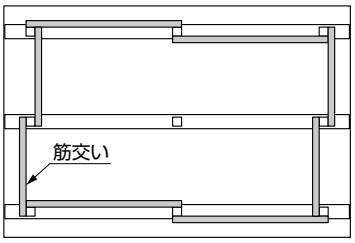
4 取付け

4-4 筋交いの施工例 オプション

施工上のお願い

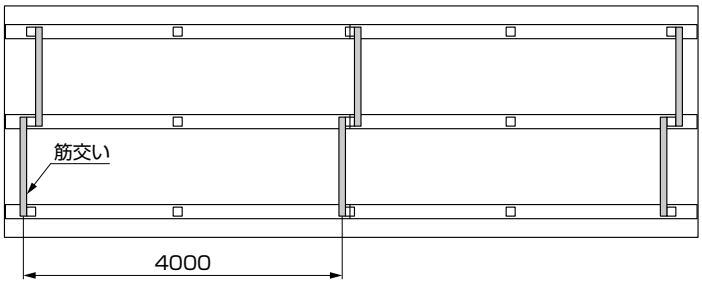
●筋交いは、ロング束柱の内側・外側交互に取付けてください。
●横張りの場合は、図を横にして読み替えてください。

●出幅4000mm未満、間口4000mm未満の場合



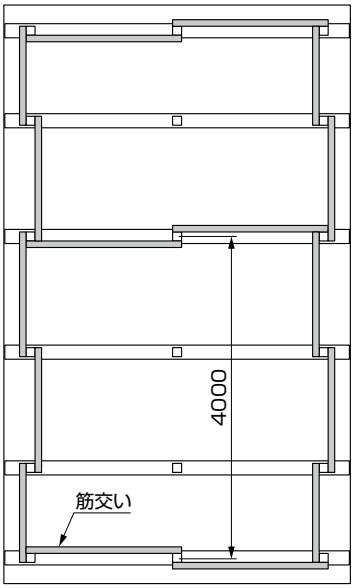
※床板方向は、両側面側に配置してください。
※大引方向は、前面側と躯体側に配置してください。

●出幅4000mm未満、間口4000mm以上の場合



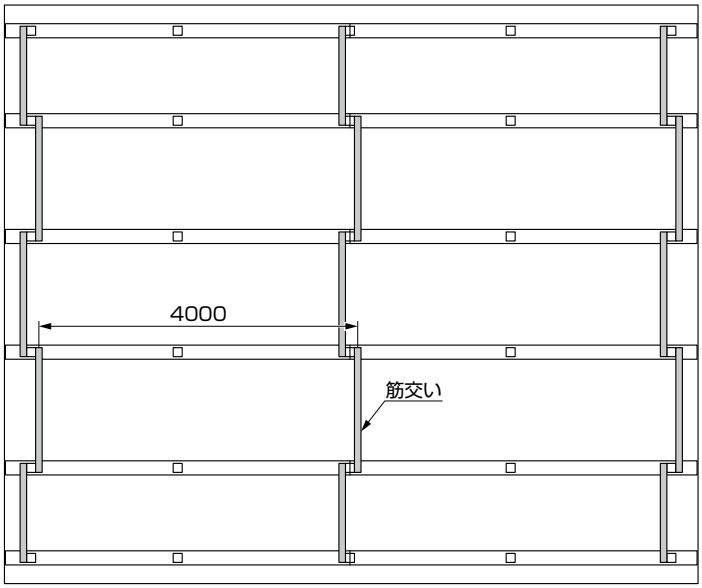
※床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

●出幅4000mm以上、間口4000mm未満の場合



※大引方向は、前面側、躯体側ならびに出幅4000mmにつき1筋配置してください。
※床板方向は、両側面側に配置してください。

●出幅4000mm以上、間口4000mm以上の場合



※床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

4-5 床板補強材の取り付け オプション

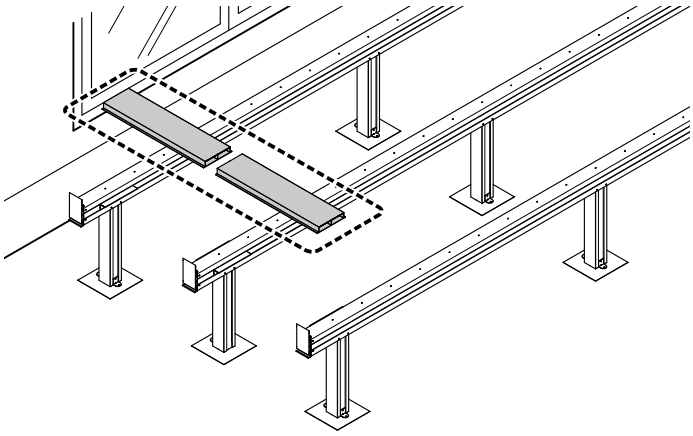
施工上のお願い

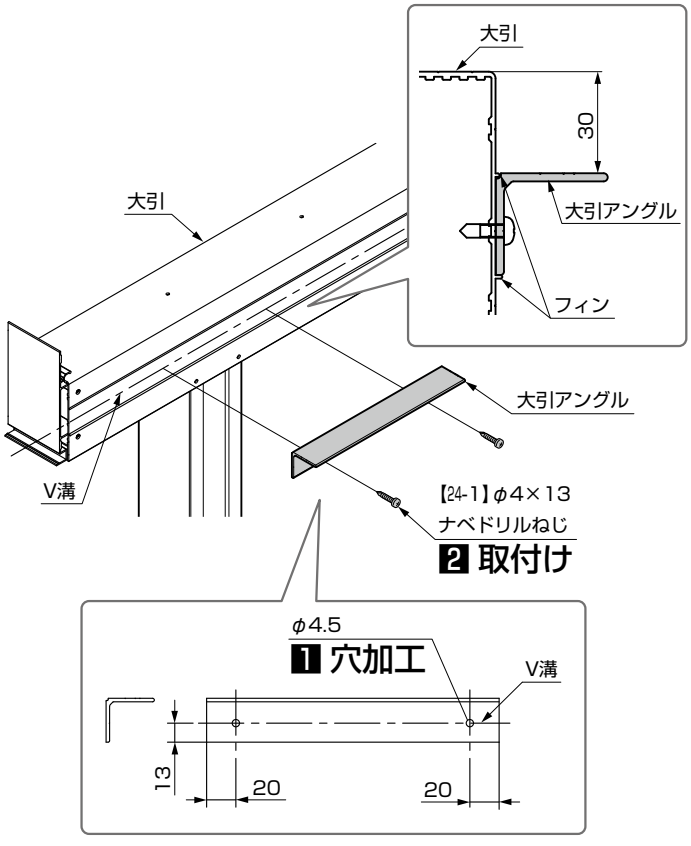
- デッキ用のフェンスやパーテーションを取付ける際に、床板補強材の取り付けが必要となる場合があります。
- 取付け位置はフェンス取付説明書を参照してください。
- 床板等を固定した後での施工は非常に困難なため、各取説を参照して、確実に施工してください。

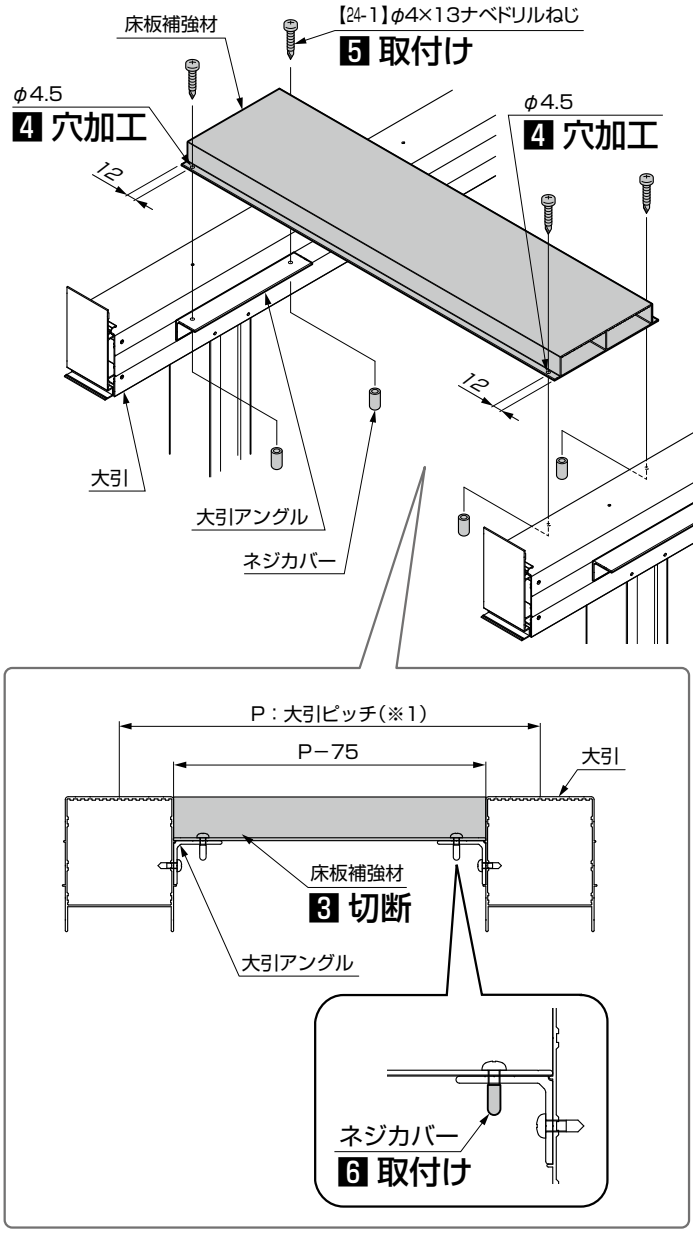
1 大引アングルにφ4.5の穴加工
2 大引アングルを大引のフィンに引っかけて【24-1】で取付け
3 大引ピッチ（※1）にあわせて床板補強材を切断
4 床板補強材にφ4.5の穴加工（1本当り4か所）
5 床板補強材を大引アングルに【24-1】で取付け
6 床板補強材付属のネジカバーを取付け

⚠ 注 意

- ネジカバーを取付けないと、ネジの先端でケガをするおそれがあります。







5 土間施工

施工上のお願い

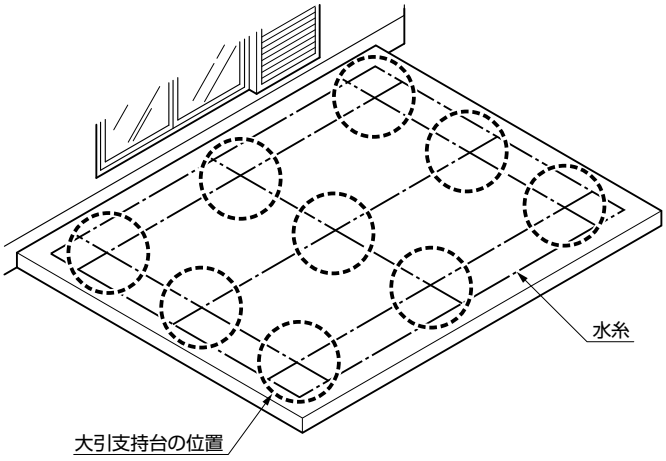
※束設置の場合は「**4 束柱・大引の施工**」を参照願います
●大引を連結する際は「4-2-4 大引の連結と束柱の取付け」を参照してください。

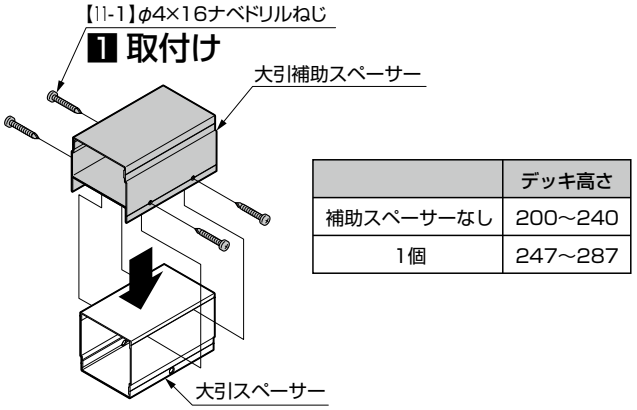
▼大引補助スペーサーを使用する場合はここから▼

1 大引補助スペーサーを使用する場合は、大引スペーサーに【11-1】で取付け

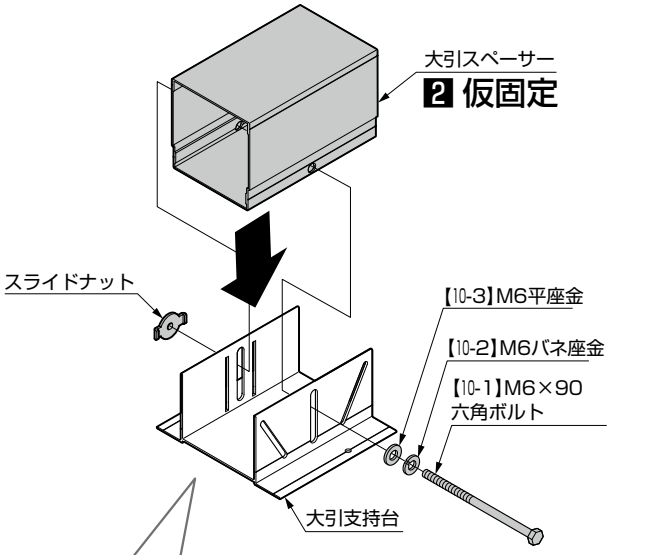
▼大引補助スペーサーを使用しない場合はここから▼

2 大引スペーサーを【10-1】【10-2】【10-3】とスライドナットで大引支持台に仮固定
3 大引スペーサーまたは大引補助スペーサーに大引をのせ、【10-5】で取付け
4 大引高さを調節して【10-1】で締付け
5 大引支持台と大引スペーサーを【10-5】で取付け
6 土間にφ4.3で深さ45mmの下穴をあけ、大引支持台を土間に【10-4】で取付け

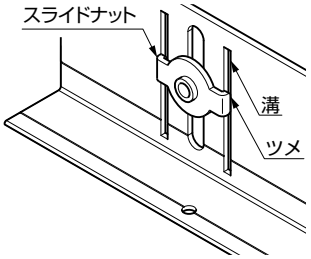


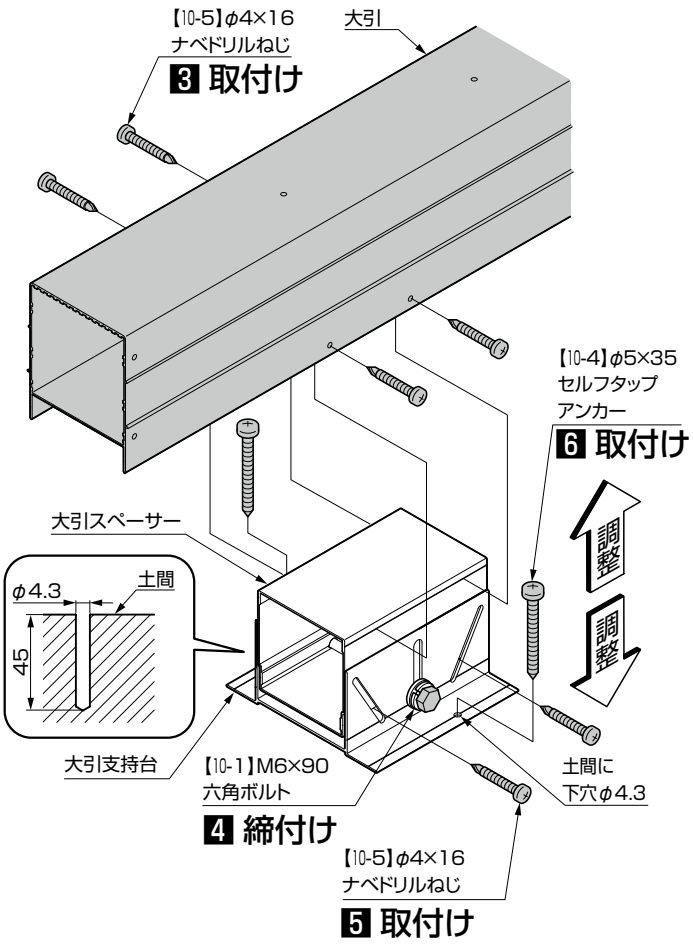


	デッキ高さ
補助スペーサーなし	200～240
1個	247～287



●スライドナットのツメを溝にはめて確実に締め付けてください。





6 床板の施工

施工上のお願い

- ●フェンスやウッドパーテーションを取り付ける場合、床板施工前に、床板補強材の取り付けが必要となる場合があります。
- ●躯体付けアングルを取付ける場合は床板等を取付ける前に、「9 オプション　9-2 躯体付けアングルの取付け」を参照してください。
- ●補助根太を取付ける場合は床板等を取付ける前に、「8 隅切り施工　8-2 補助根太の取付け」を参照してください。
- ●床板キャップを取付ける場合は床板等を取付ける前に、「9 オプション　9-3 床板キャップの取付」を参照してください。
- ●ポイントライトを取付ける場合は床板等を取付ける前に、「9 オプション　9-5 ポイントライトの取付け」を参照してください。

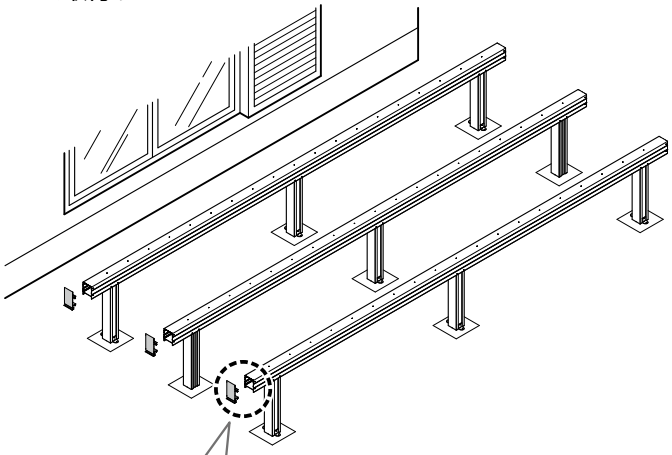
6-1 幕板取付け材の取付け

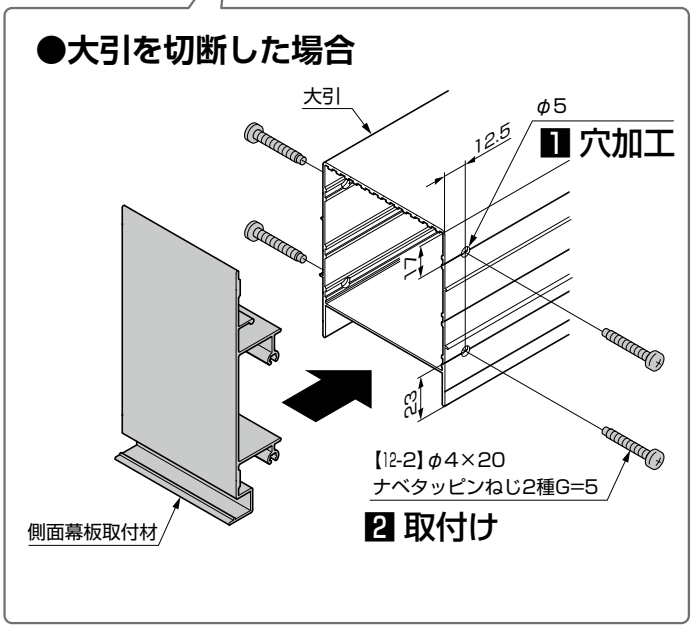
6-1-1 側面幕板取付け材の取付け

施工上のお願い

- ●床板取付終わり側の大引端部には、床板を取付け終えてから側面幕板取付材を取付てください。
- ●大引を切断した場合のみ手順❶を行ってください。

❶ 大引を切断した場合、大引にφ５の穴加工
❷ 床板を取付け始める側に、側面幕板取付け材を大引に【12-2】で取付け



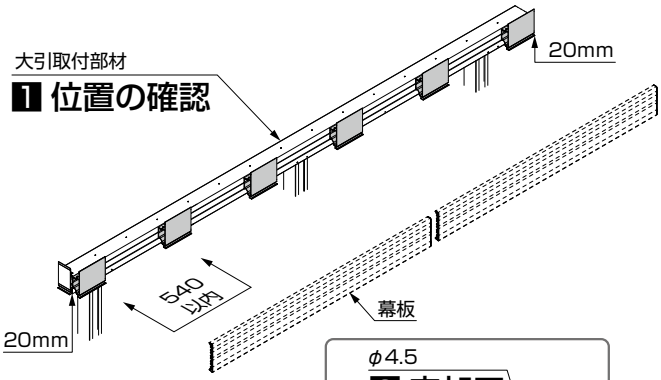


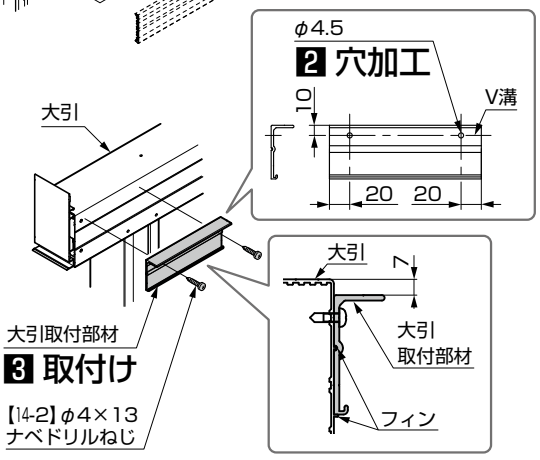
6-1-2 正面幕板取付け材（大引固定用）の取付け

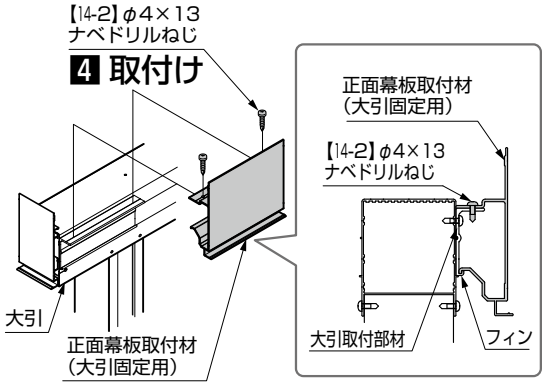
施工上のお願い

- ●正面幕板が床板固定の場合は、床板固定後に正面幕板取付材（床板固定用）を取付けてください。
- ●多段幕板を施工する場合は、幕板を大引固定してください。
- ●フェンスベースプレートの固定に正面幕板取付材（大引固定用）を用いる場合は、各フェンスの取付説明書を参考に位置を確認してください。
- ●幕板は床板施工後に取付けてください。
- ●正面幕板取付材（大引固定用）のピッチは、540mm以内にしてください。
- ●正面幕板取付材（大引固定用）は、始まりと終わり、および幕板接続部に必ず取付けてください。

❶ 図を参照して、正面幕板取付材(大引固定用)の取付け位置を確認し両端は、大引端部から20mmの位置に取付け
❷ 大引取付部材にφ4.5の穴加工
❸ 大引取付部材を大引に【14-2】で取付け
❹ 正面幕板取付材(大引固定用)を大引取付部材のフィンに引っかけ、【14-2】で取付け







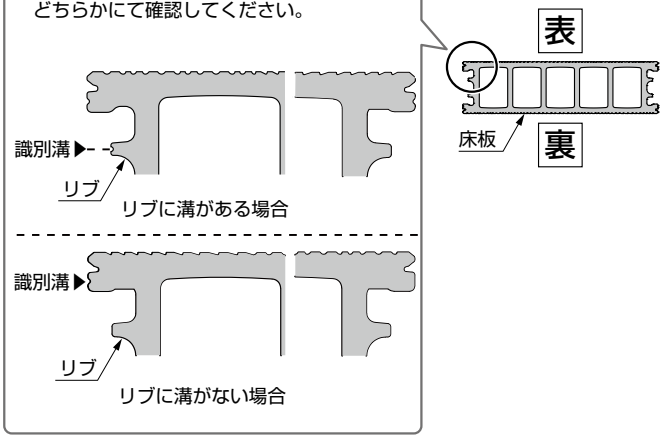
6-2 床板の取付け

施工上のお願い

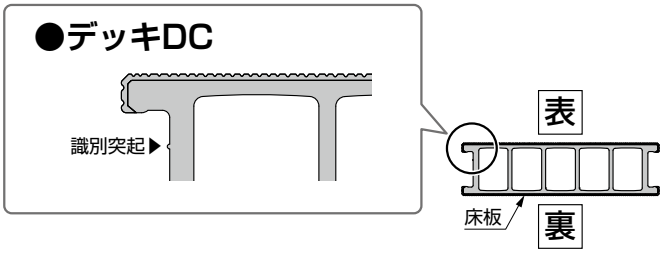
●床板の表面には不規則な溝があり、表裏・回転により4パターンの柄の組合せが可能です。現場状況に合わせて床板を組合せて取付けてください。側面には木彫タイプの場合は識別用の溝があり、デッキDCの場合は識別用の突起があります。

●木彫タイプ

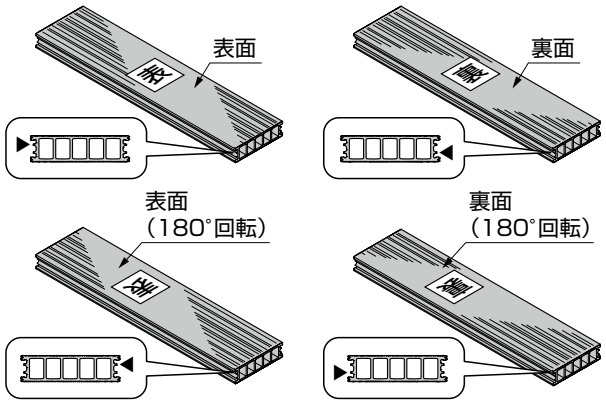
※木彫タイプは識別溝の位置が2種類あります。
どちらかにて確認してください。



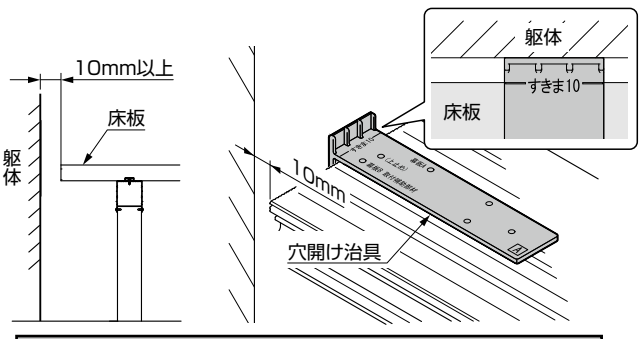
●デッキDC



▶は識別溝の位置を示します。
※図は木彫タイプです。



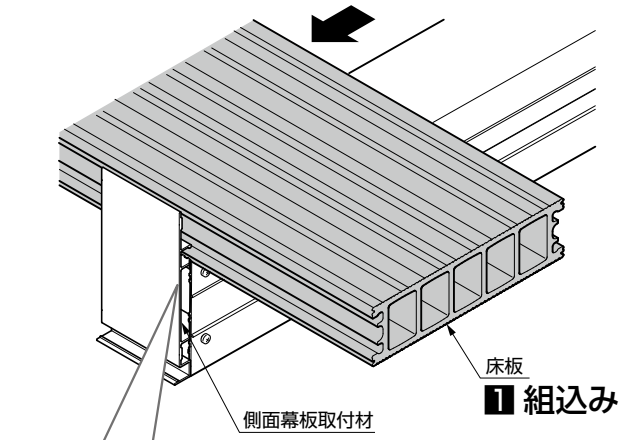
●床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。

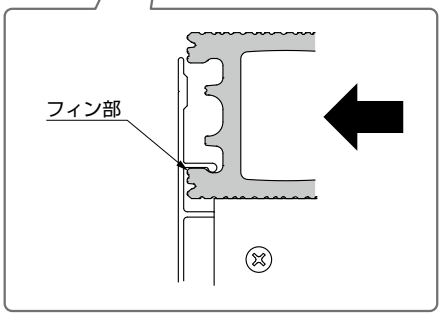


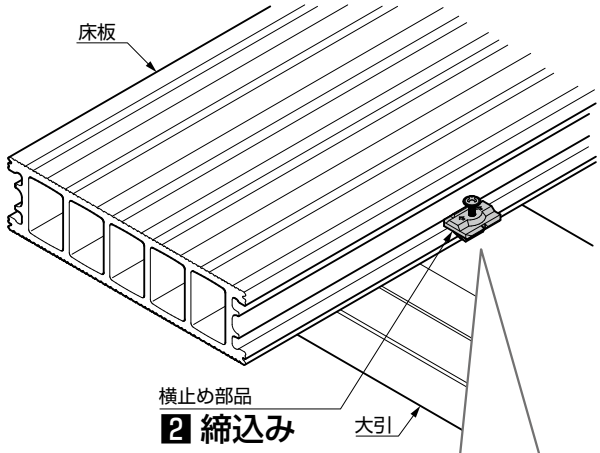
通常納まり：10mm以上
躯体側隙間塞ぎ材（オプション）使用時：10～14mm

6-2-1 床板1枚目の固定

1 床板を大引の側面幕板取付け材に組込む
2 横止め部品に組み込まれているねじを大引下穴に締込む

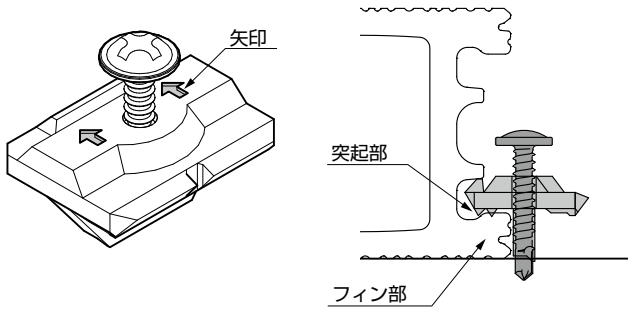






補足

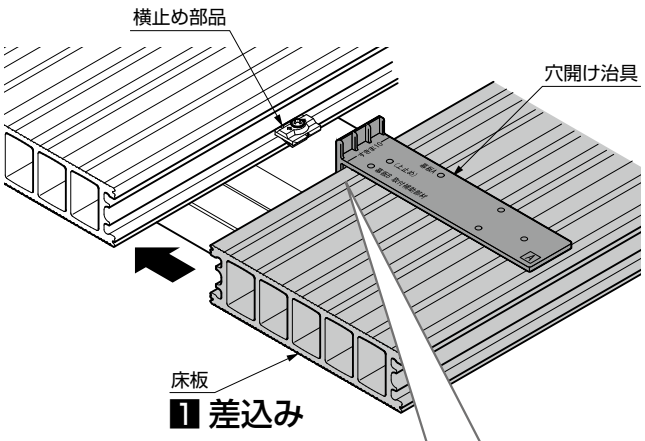
●横止め部品の水平・直角等を確認してください。



6-2 床板の取付け

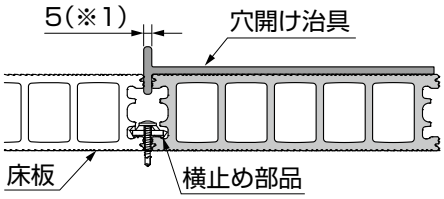
6-2-2 床板2枚目以降の固定

1 床板同士のすき間が5mm(※1)になるように、床板を横止め部品に差込む
2 1枚目床板と同様に横止め部品を取付け



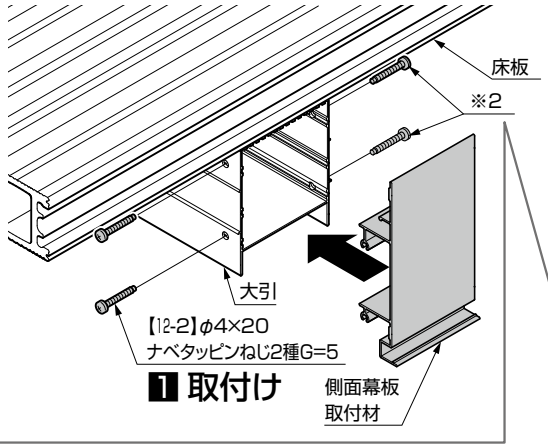
補足

●床板のすき間は穴開け治具で確認できます。
●入りにくい時はゴムハンマーで軽くたたいて入れてください。



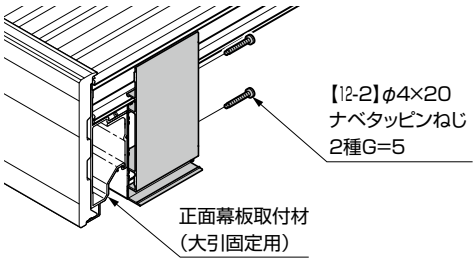
6-2-3 最終床板の固定

1 側面幕板取付け材を大引に【12-2】で取付け
2 側面幕板取付け材の両側に【15-1】を取付け
3 すべての床板の両小口に1mm以上の面取り



補足

●正面幕板取付材(大引固定用)を使用する場合、【12-2】は2本止め(※2のみ)してください。

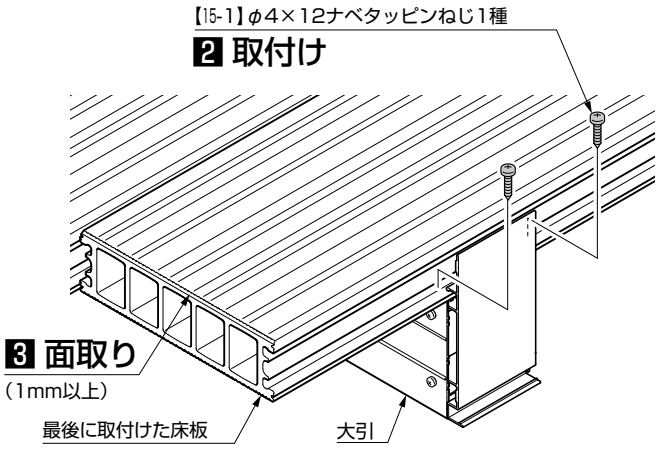


補足

●ネジはトルク1.0N・mで手締めで取付けてください。

補足

●【15-1】を取り付けないと、床板がずれる原因になります。



補足

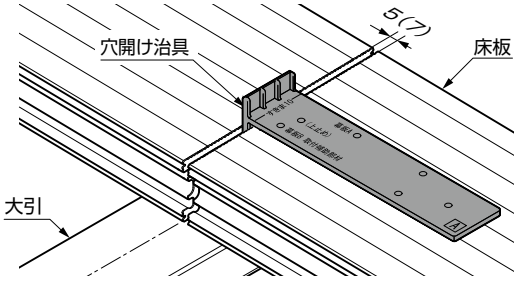
●面取りすることで、水はけがよくなります

6-2 床板の取付け

6-2-4 床板を縦連結する場合

施工上のお願い

●床板を連結する場合は、必ず千鳥張りにしてください。
千鳥張りにしないと､床板が反り･変形する原因になります。
●穴開け治具を使用して床板連結部のすき間を5(7)mmにしてください。
●すき間確保ため、必要に応じて床板を切断してください。



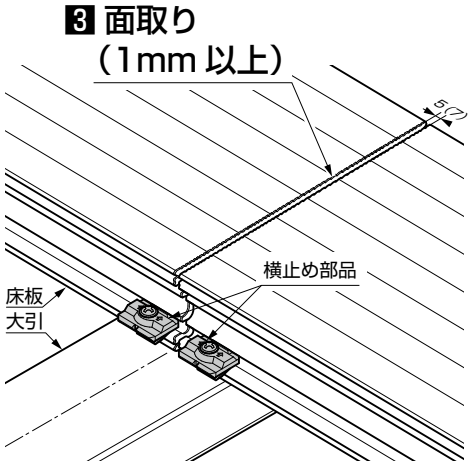
1 床板の連結は必ず大引上の中心で行う

2 床板連結間のすき間を下記の通りあける

・床板L1800まで ⇨ 5mm
・床板L1801～2700まで ⇨ 7mm

※温度差40℃でL2700の熱伸び
木彫タイプ：6mm
デッキDC　：5mm

3 連結部の床板小口は必ず1mm以上の面取り



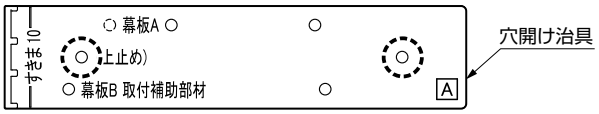
6-3 床板の上止め

※躯体が入隅の場合の作業です。

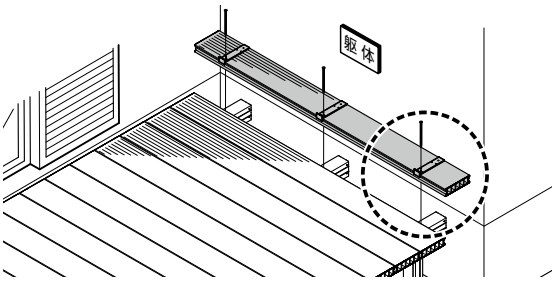
6-3-1 床板の上止め

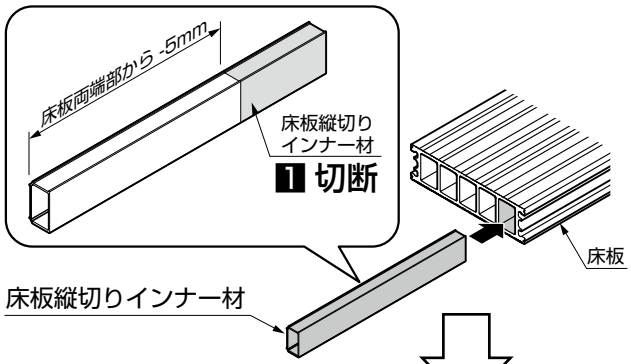
施工上のお願い

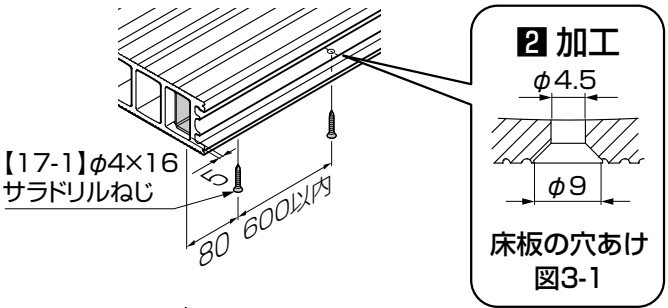
●床板を上止めする際は、電動ドライバー等での締め付け過ぎに注意してください。締込み過ぎると床板が割れる原因になります。
●穴開け治具を使って、床板と床板のすき間を5mmにしてください。
●床板に貫通穴をあける際は、穴開け治具の〇印の穴を使ってください。

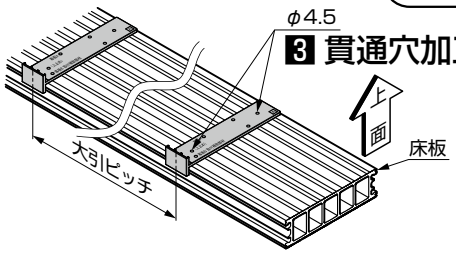


1 床板縦切りインナー材を床板両端から-5mmに切断
2 床板の床板縦切りインナー材を固定する位置に600ピッチ以内でφ4.5下穴とφ9サラ取り加工(図3-1参照)
3 穴開け治具を使用し、床板にφ4.5の貫通穴加工
4 床板上面のφ5の穴にφ8のサラ取り加工
5 床板を大引に【16-1】で取付け





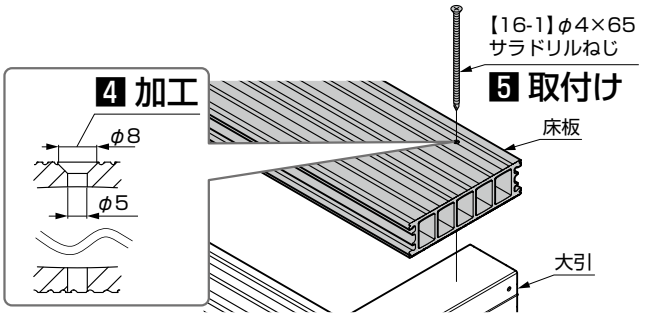




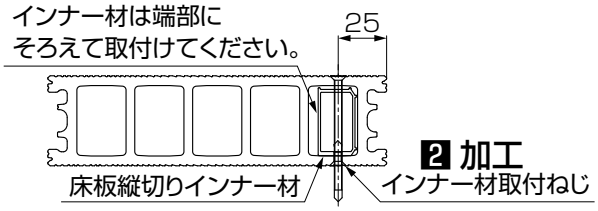
6-3 床板の上止め

※躯体が入隅の場合の作業です。

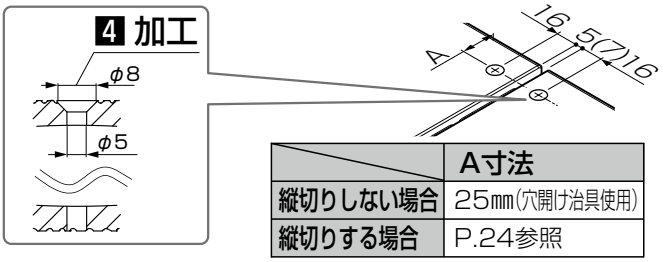
6-3-1 床板の上止め つづき



▼ 縦切りしない場合▼



6-3-2 床板の上止め(縦連結の場合)

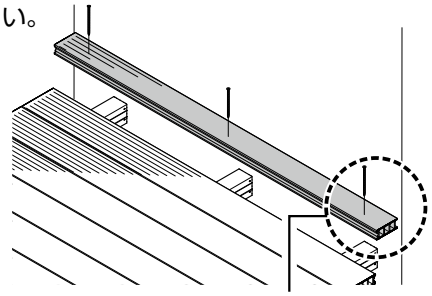


	A寸法
縦切りしない場合	25㎜(穴開け治具使用)
縦切りする場合	P.24参照

6-3-3 床板を縦切りする場合

施工上のお願い

●床板の縦切りをする場合には、必ずこの作業を行ってください。

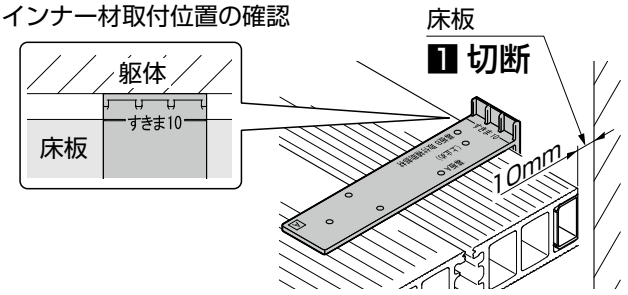


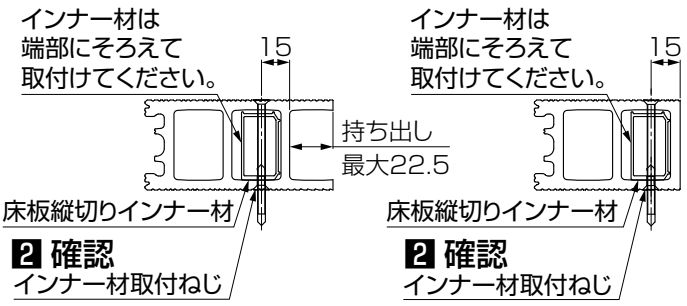
●床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。

●縦切り時の持ち出しは最大22.5mmです。上止ねじ、インナー材固定ねじは縦リブ外面から15mmの位置で固定してください。

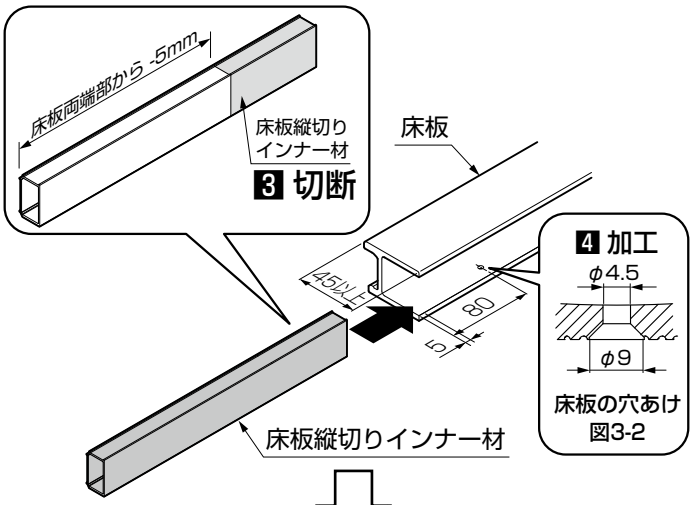
1 縦切寸法を確認し、床板を切断
※床板幅は45mm以上

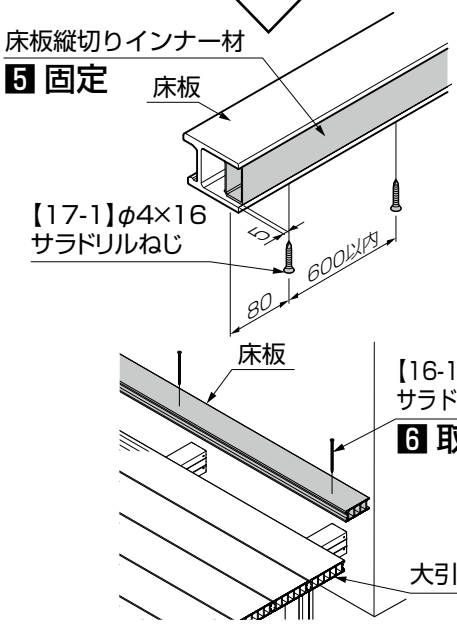
2 インナー材取付位置の確認





3 床板縦切りインナー材を床板両端部から−5mmに切断
4 床板の床板縦切インナー材を固定する位置に600ピッチ以内でφ4.5下穴とφ9サラ取り加工(図3-2参照)
5 床板縦切りインナー材を床板に【17-1】で固定
6 床板を大引きに【16-1】で取付け



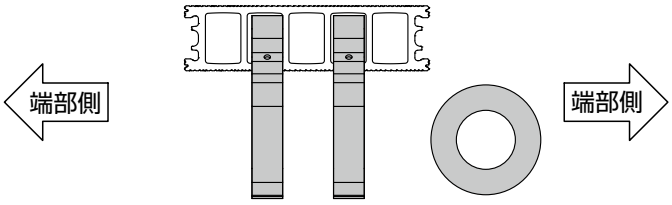


7 幕板の施工

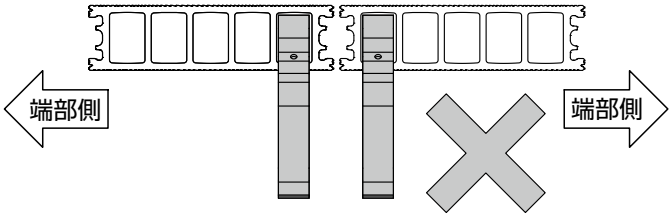
7-1 正面幕板取付けの準備(床板固定用)

施工上のお願い

- ●デッキ上にフェンスを取付ける場合は、フェンスを取付け後に幕板を固定してください。
- ●電動ドライバー等での締め付け過ぎに注意してください。締込み過ぎると床板が割れる原因になります。
- ●穴開け治具を使って、床板と床板のすき間を5mmにしてください。
- ●正面幕板取付材(床板固定用)の取付けピッチは、360mm以内(床板1枚おきまで)にしてください。
- ●正面幕板取付材(床板固定用)は、幕板の始まりと終わり、および連結部に必ず取付けてください。
- ●正面幕板取付材(床板固定用)は、床板のホロー部を一つ空けて取付けてください。



- ●連結部の正面幕板取付材は1枚の床板に2個取り付けてください。2枚にまたがないでください。

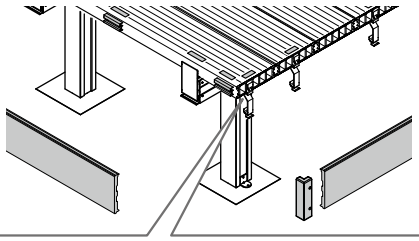


1 正面幕板取付材…位置を確認
・幕板の両端に位置する正面幕板取付材は床板ホロー部の端にならないように取付け

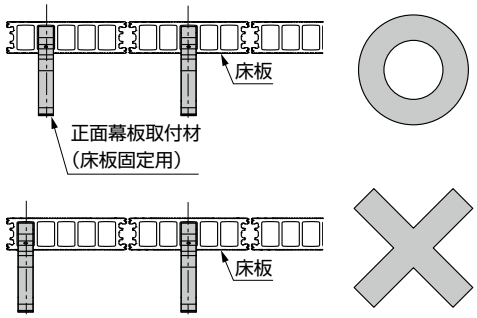
2 正面幕板取付材(床板固定用)を床板のホロー部にはめ込む

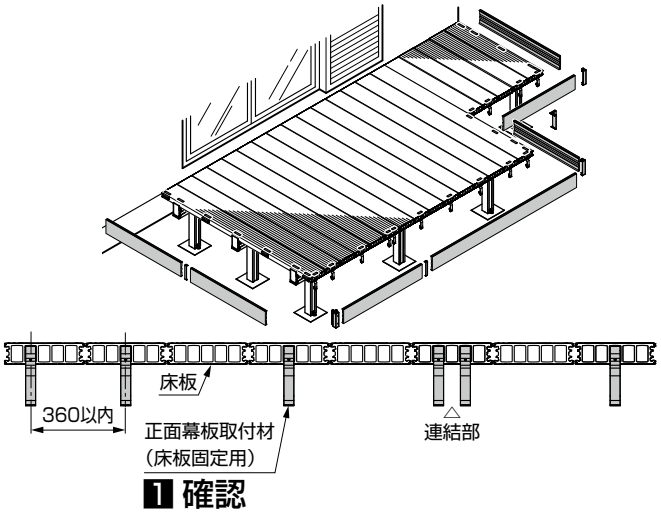
3 正面幕板取付材(床板固定用)の穴に従って床板下面と正面幕板取付材(床板固定用)にφ3.5の下穴加工

4 正面幕板取付材(床板固定用)を、床板のホロー部に【20-2】で取付け



●正面幕板取付材は床板ホロー部の端部以外に取り付けてください。

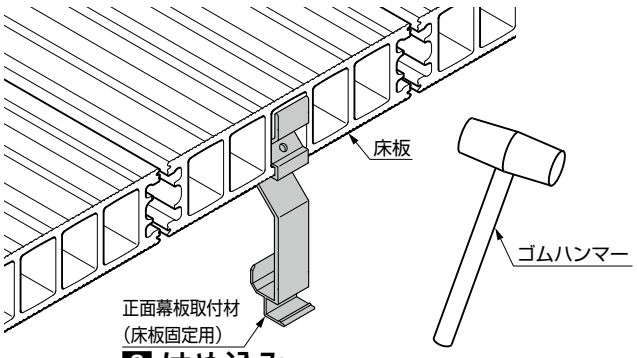




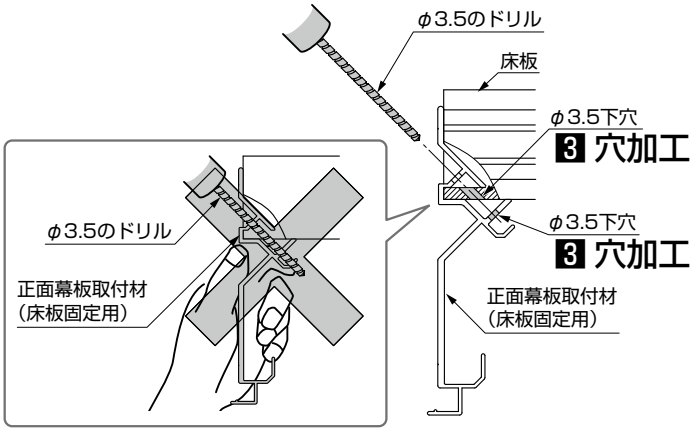
1 確認

補足

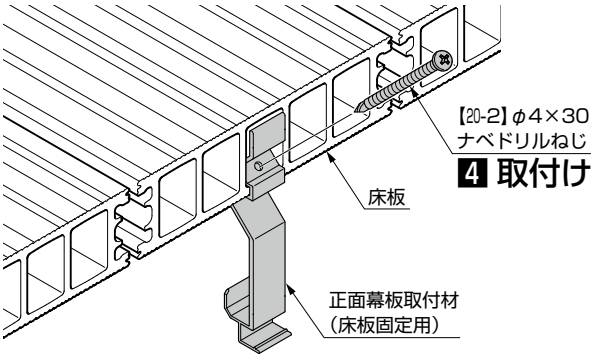
- ●マスキングテープなどで取付材の位置に印をつけておくと、幕板の穴加工位置がわかりやすくなります。



2 はめ込み



3 穴加工



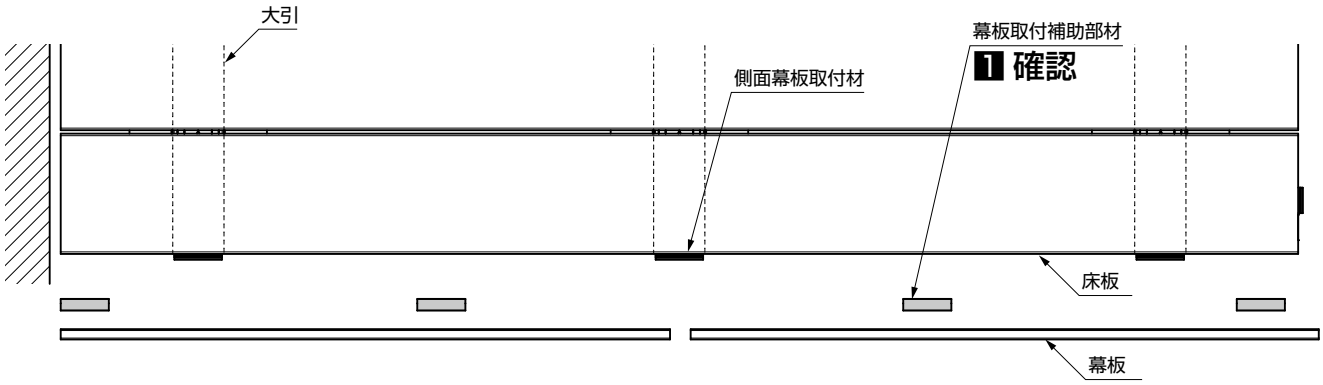
4 取付け

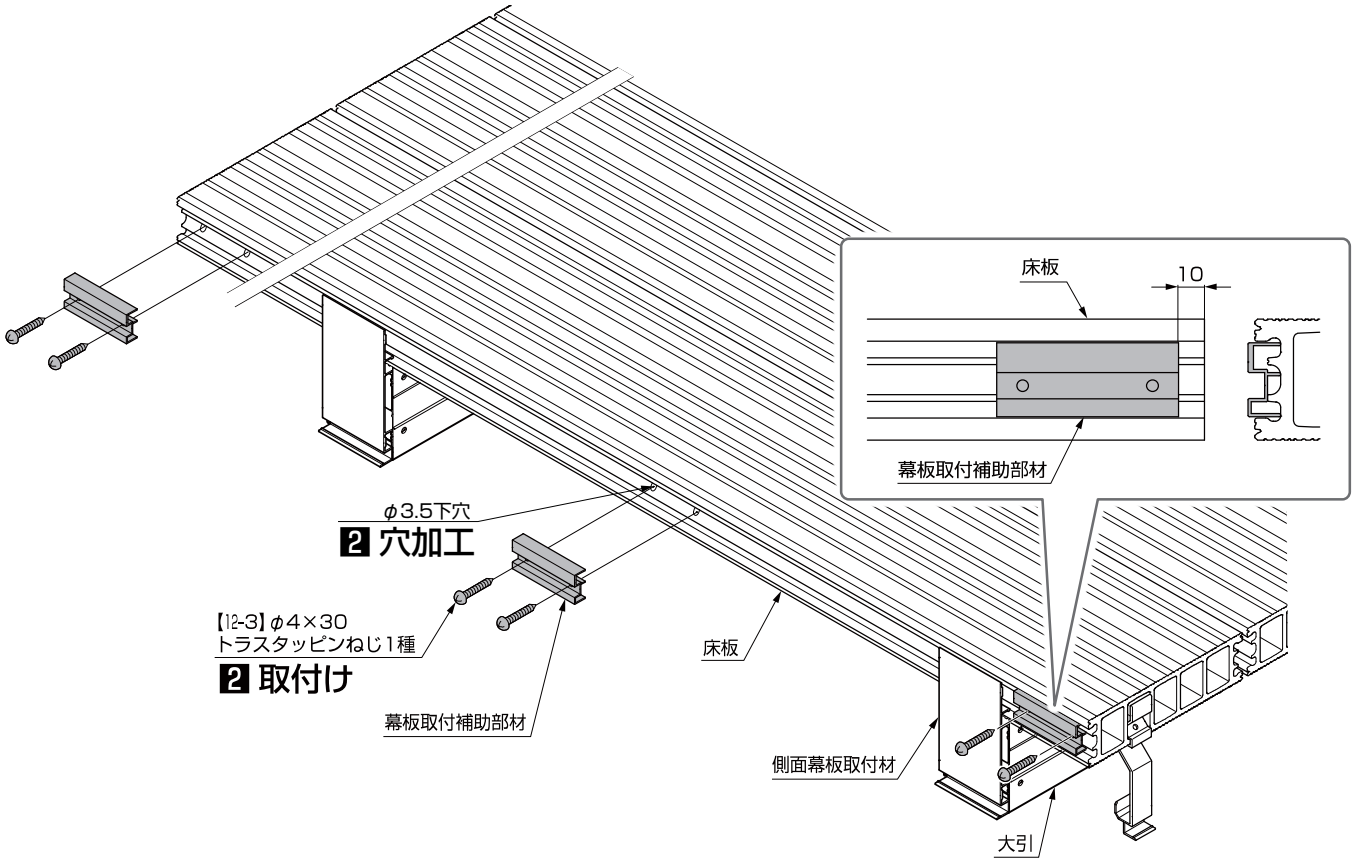
7-2 側面幕板取付の準備（床板固定用・大引固定用）

施工上のお願い

- ●幕板の連結は、必ず側面幕板取付材のある箇所で行ってください。
- ●幕板取付補助部材は、床板の両端部と、側面幕板取付材の間に取付けてください。
- ●床板端部に取付ける幕板取付補助部材は、端部から10mmのところに取付けてください。

■1 幕板取付け補助部材を取付ける位置を以下の通り確認
（床板両端部から10mm、側面幕板取付け材の間）
■2 幕板取付補助部材を当て、φ3.5の下穴加工
■3 床板側面の大引間中間部と床板両端部に、【12-3】で取付け





7-3 幕板の加工（床板固定用・大引固定用）

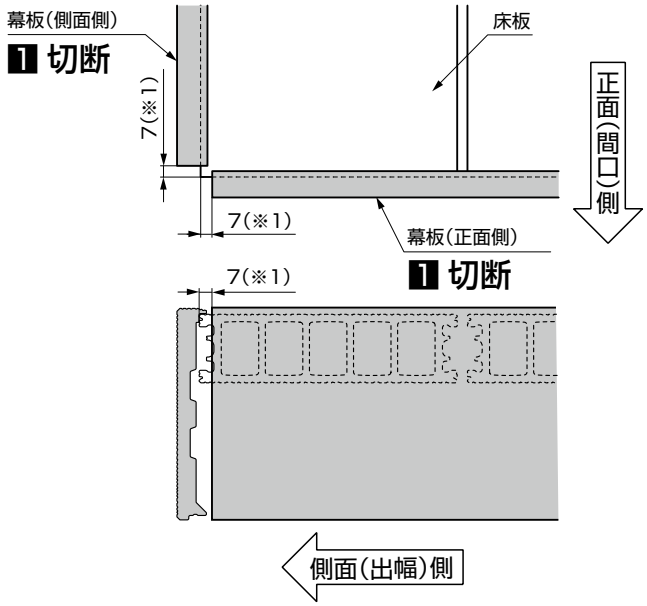
7-3-1 幕板の切断

施工上のお願い

●幕板の切断寸法は守ってください。幕板反りの原因になります。
●幕板の連結は、幕板取付材のある箇所で行ってください。

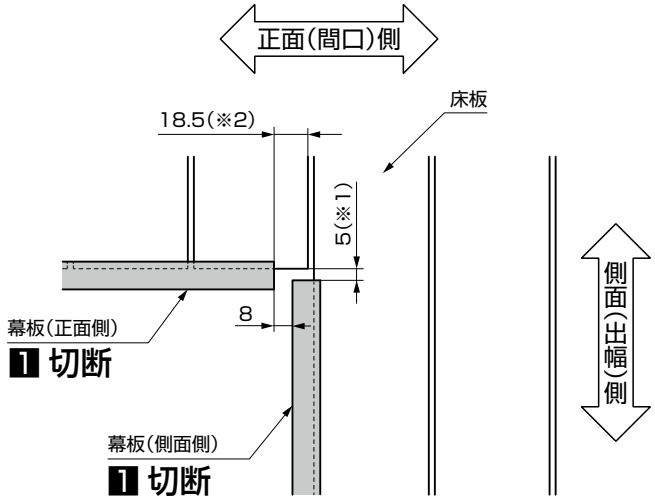
●90度コーナー（出隅仕様）の場合

1 図のように幕板を切断
幕板は床板から7mm（※１）デッキ内側にする



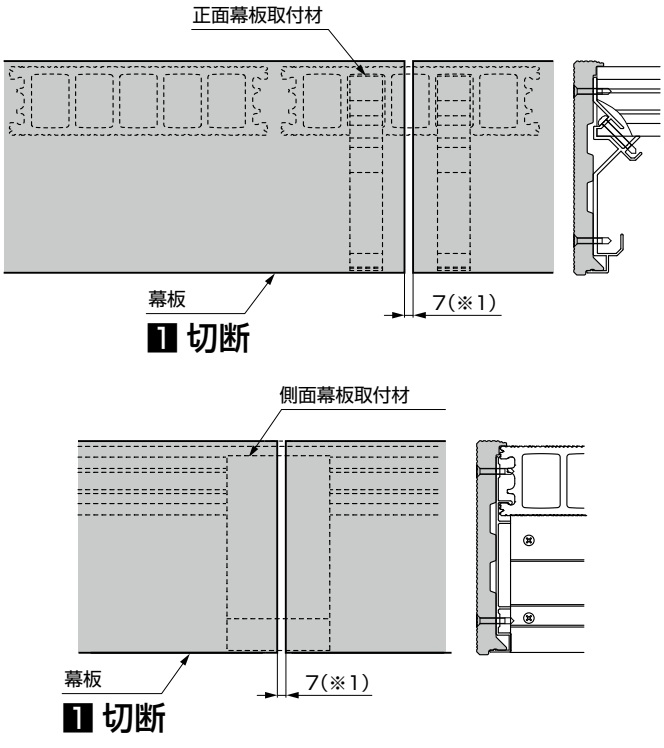
●90度コーナー（入隅仕様）の場合

1 図のように幕板を切断
側面側の幕板は床板から5mm（※1）あける
正面側の幕板は床板から18.5mm（※2）あける



●連結部の場合

1 図のように幕板を切断
幕板連結間のすき間は7mm（※１）あける



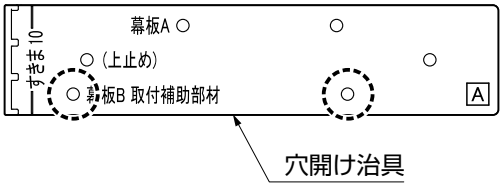
7-3 幕板の加工(床板固定用･大引固定用)

7-3-2 幕板の穴加工

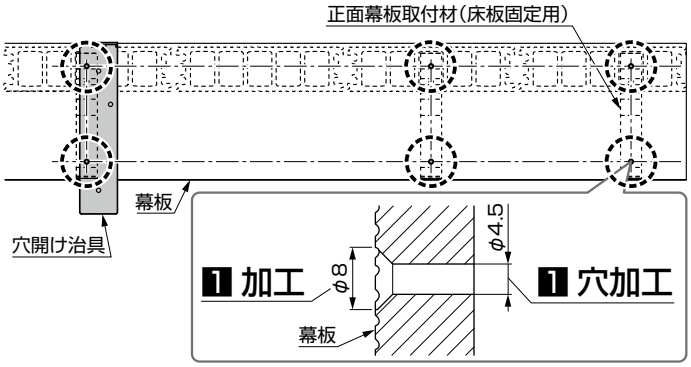
❶ 幕板に穴開け治具を使用して、φ4.5の穴とφ8サラ取り加工

補足

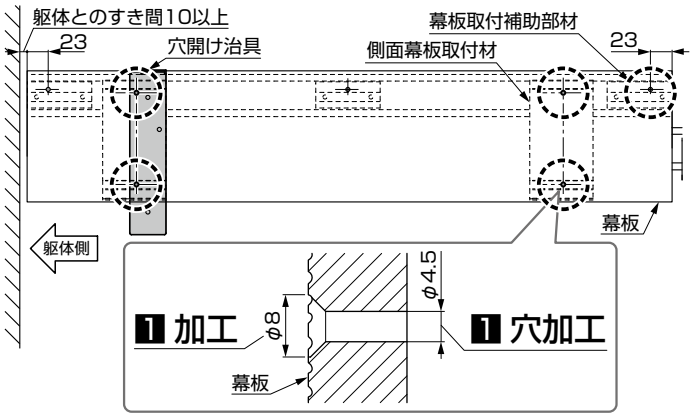
●穴開け治具の○印の穴を使ってください。
●側面の幕板取付補助部材には、上1箇所のみ穴をあけてください。



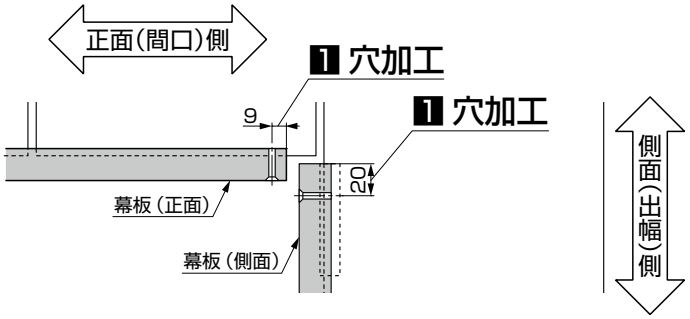
●正面幕板の穴加工



●側面幕板の穴加工



●幕板の穴加工（入隅コーナー部）



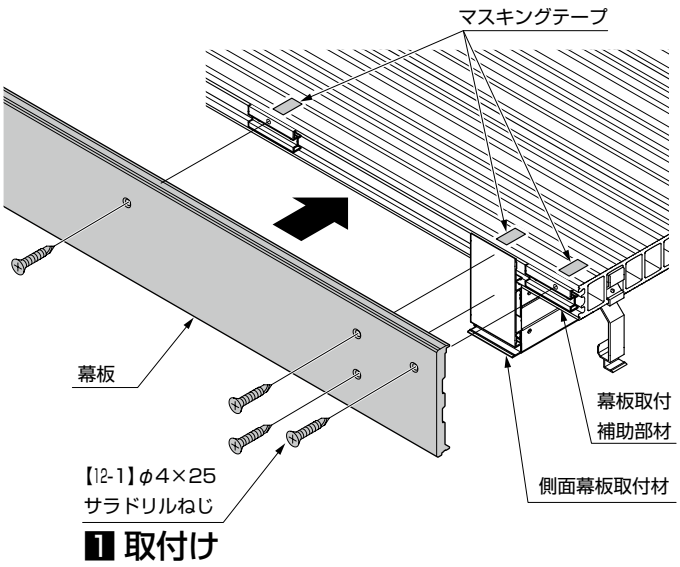
7-4 幕板の取付け(床板固定用･大引固定用)

7-4-1 側面部の場合

施工上のお願い

●側面の幕板は側面幕板取付材へは上下2ヶ所、幕板取付補助部材へは上1ヶ所の取付けとなります。
●幕板を取付ける際は、幕板中心部で固定してから両端部方向へ固定してください。両端部から取付ると、反りの原因になります。

❶ 側面の幕板を側面幕板取付材と幕板取付補助部材に【12-1】で取付け



補足

●マスキングテープなどで取付材の位置に印をつけておくと、幕板の穴加工位置がわかりやすくなります。

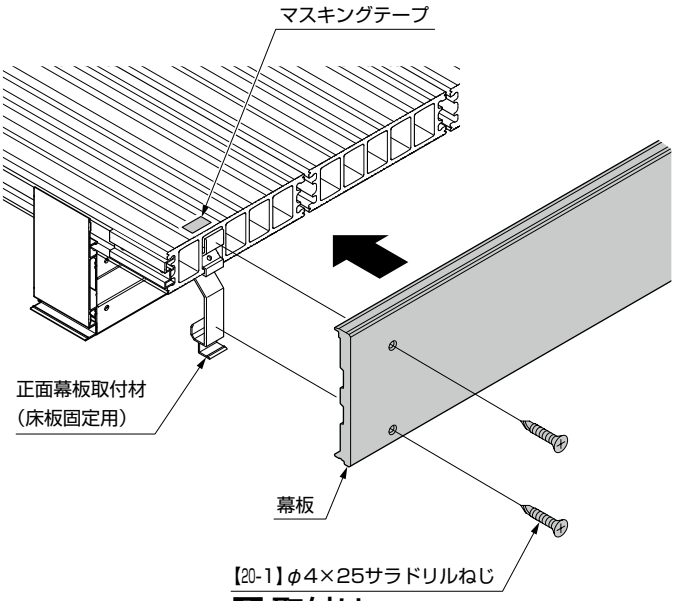
7-4 幕板の取付け（床板固定用・大引固定用）

7-4-2 正面部の場合

施工上のお願い

●正面の幕板は、上下2ヶ所の取付けになります。
●幕板を取付ける際は、幕板中心部で固定してから両端部方向へ固定してください。両端部から取付ると、反りの原因になります。

■1 正面の幕板を正面幕板取付材（床板固定用）に【20-1】で取付け



■1 取付け

補足

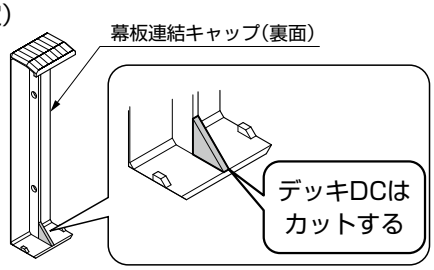
●マスキングテープなどで取付材の位置に印をつけておくと、幕板の穴加工位置がわかりやすくなります。

7-4-3 連結部の取付け

（1）連結部取付の準備

施工上のお願い

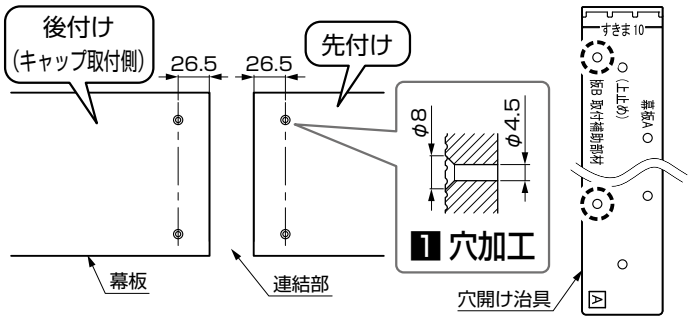
●穴開け治具の○印の穴を使って穴加工してください。
●下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れる原因になります。
●デッキDCの場合は幕板連結キャップ下部をニッパー等でカットしてください。（側面幕板、多段幕板、正面幕板が大引き固定）



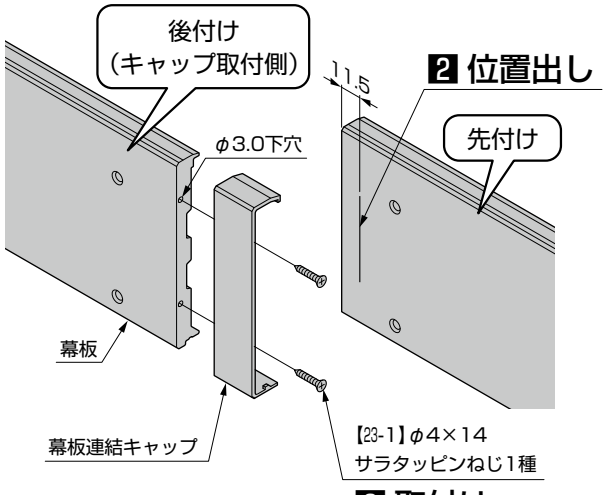
■1 幕板の連結端部から26.5mmの位置に穴加工
■2 先付けの幕板にキャップのみ込みの印を鉛筆など位置出し
■3 後付けの幕板の小口にφ３の下穴をあけ、連結キャップを【23-1】で取付け

補足

●下穴は幕板裏側に若干傾けて加工してください。表側に向いてしまうと幕板表面に亀裂が出る原因になります。
ネジはトルク1.0N・mの手締めで取付けてください。



■1 穴加工



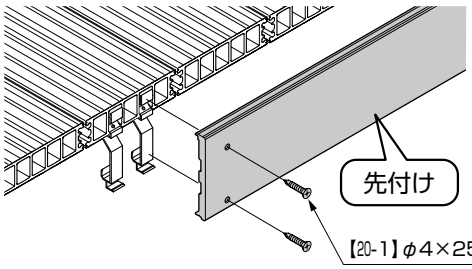
■2 位置出し
■3 取付け

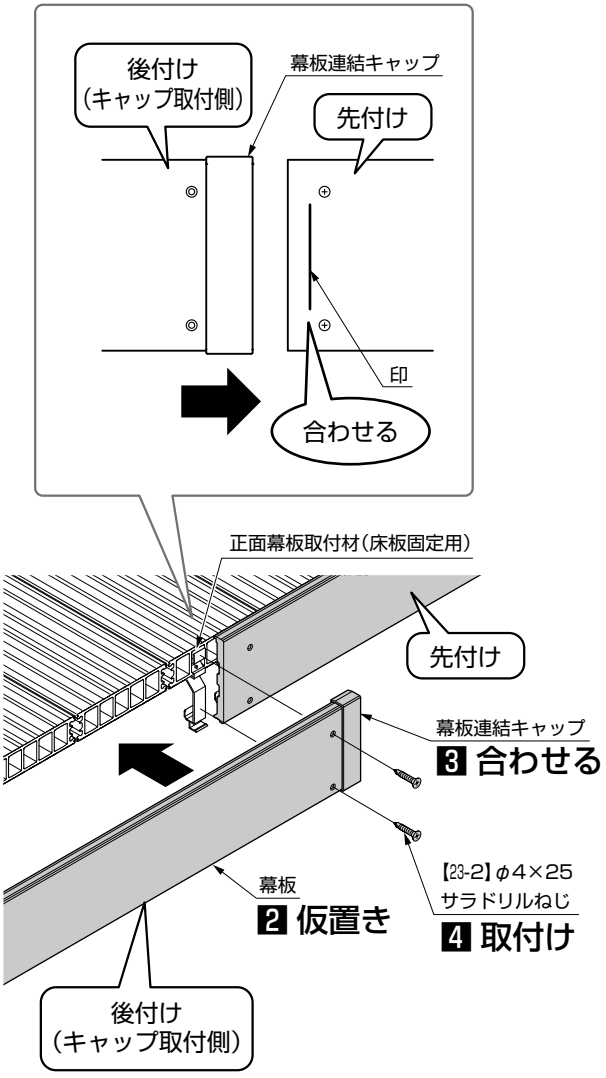
7-4 幕板の取付け（床板固定用・大引固定用）

7-4-3 連結部の取付け

（2）連結部の取付け

1 先付けの幕板を、正面幕板取付材（正面床板固定用・大引固定用）に【20-1】で取付け
2 後付けの幕板を正面幕板取付材に仮置き
3 幕板連結キャップの端部を印に合わせる
4 後付けの幕板を【23-2】で取付け





7-4-4 90度コーナー（出隅仕様）の場合

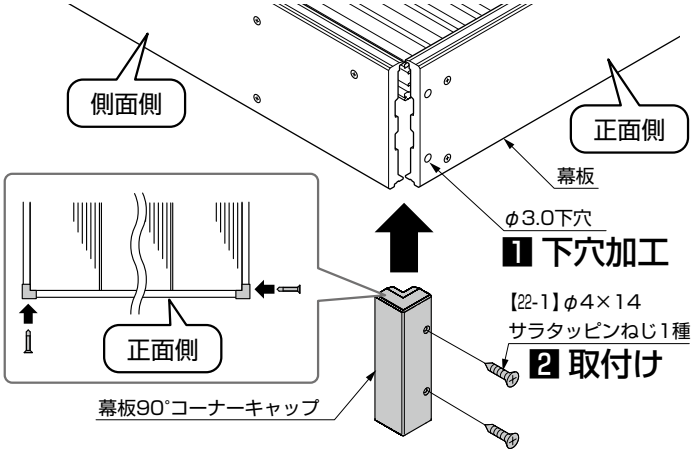
施工上のお願い

●下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れる原因になります。

1 幕板90°コーナーキャップを幕板コーナー部に当てて、幕板にφ3.0の下穴加工
2 幕板90°コーナーキャップを幕板に【22-1】で取付け

補足

●ネジはトルク1.0N・mで手締めで取付けてください。



7-4-5 90度コーナー（入隅仕様）の場合

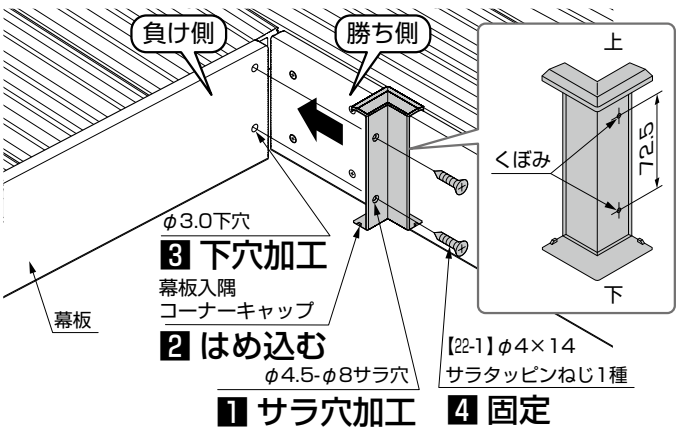
施工上のお願い

●幕板入隅コーナーキャップには上下があります。
●下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れる原因になります。

1 デッキDCの場合は床板側面側になるキャップ内側のくぼみ位置にφ4.5の穴を2ヶ所あけ、その穴に表面からφ8のサラ取り加工　木彫タイプの場合は2より施工
2 幕板入隅コーナーキャップを幕板突き当ての勝ち側にはめ込む
3 スライドさせて負け側の幕板にはめ込み幕板にφ3.0の下穴加工
4 【22-1】φ4 x 14サラタッピンねじ1種にて固定

補足

●ネジはトルク1.0N・mで手締めで取付けてください。



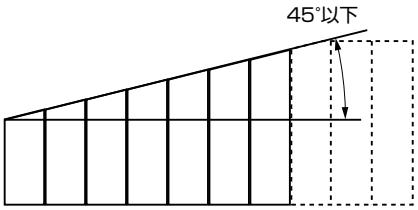
8 隅切り施工 ※土間施工は対応していません。

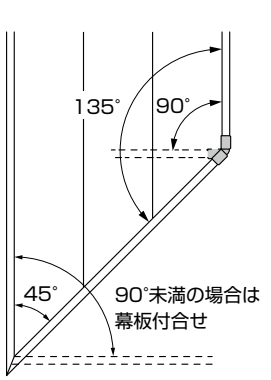
8-1 床板取付上の注意

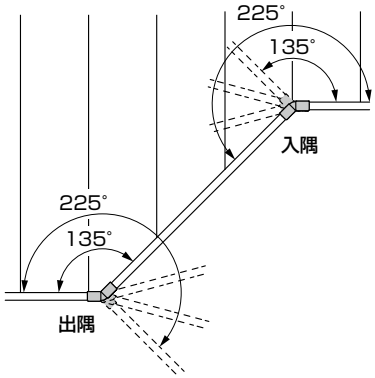
8-1-1 隅切り角度とフリーコーナーキャップの対応角度

施工上のお願い

●隅切りは45°以下にしてください。
●フリーコーナーキャップの取付可能角度は90°～225°までです。



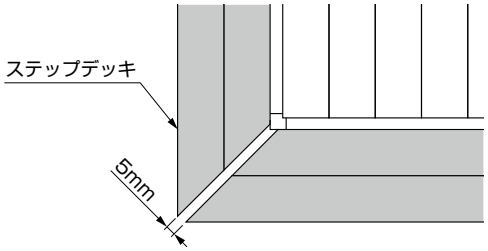




8-1-2 ステップデッキの留切部のすき間

施工上のお願い

●ステップデッキの留切部の床板はすき間を5mmあけてください。

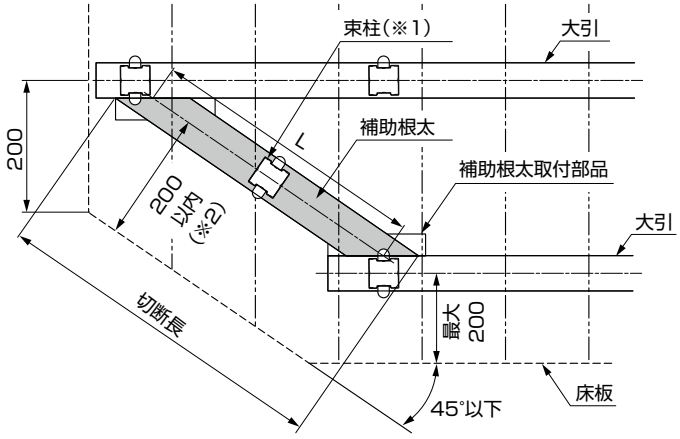


8-2 補助根太の取付け オプション ※特殊納まりの加工です。

8-2-1 納まり図

施工上のお願い

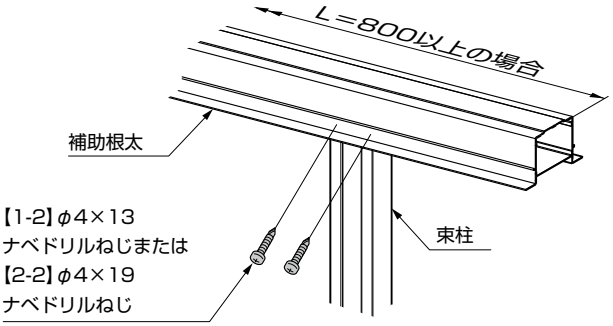
- ●角度切りは45°以下にしてください。
- ●L寸法が800mm以上の場合は補助根太の中間部に束柱（※1）を設置してください。
- ●床板の張り出しは、補助根太の芯から200mm以内にしてください。（※2）



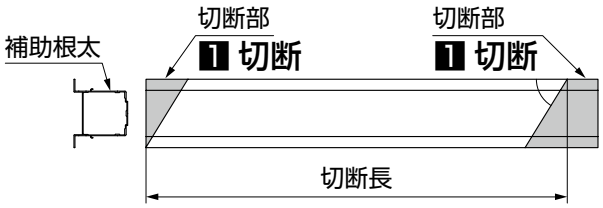
8-2-2 補助根太の取付け

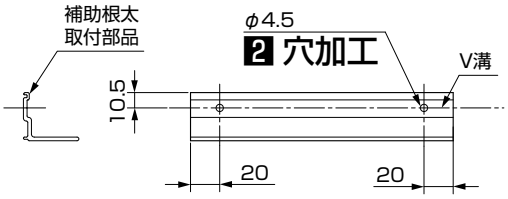
施工上のお願い

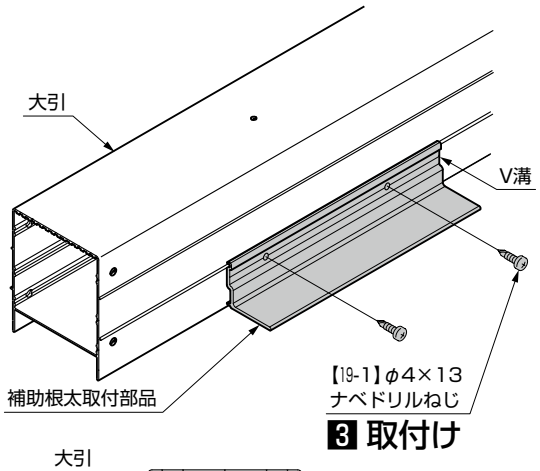
- ●L寸法が2000mm以上の場合は、補助根太の代わりに大引を使用し、束柱を2本設置してください。
- ●補助根太がL=800mm以上の場合は補助根太に束柱を固定してください。

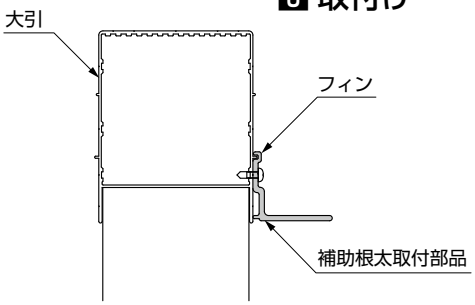


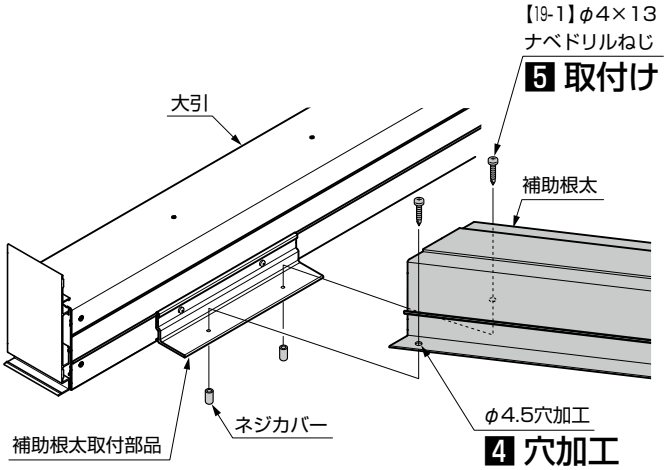
1 L寸法を実測して補助根太を切断
2 補助根太取付部品に、φ4.5の穴加工（2か所）
3 補助根太取付部品の上部を大引のフィンにひっかけて【19-1】で取付け
4 補助根太にφ4.5の穴加工（4か所）
5 補助根太を補助根太取付部品に【19-1】で取付け











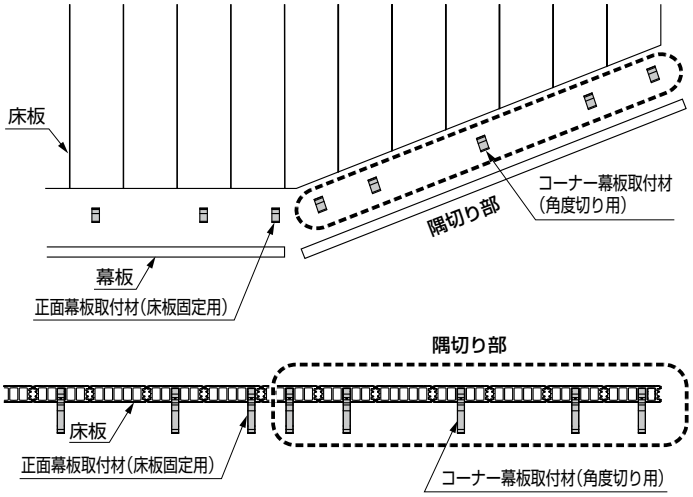
8-3 フリーコーナーの幕板の取付け

8-3-1 コーナー幕板取付材（角度切り用）と正面幕板取付材（床板固定用）の取付け

施工上のお願い

- ●隅切り部はコーナー幕板取付材(角度切り用)を床板1枚おき(ピッチ360mm以下)に取付けてください。
- ●直線部と隅切りの始まりと終わりに正面幕板取付材(床板固定用)を取付けてください。
- ●正面幕板取付材(床板固定用)、コーナー幕板取付材(角度切り用)の取付け方法は、

「 7 幕板の施工　7-1 正面幕板取付けの準備(床板固定用)　7-1-1 正面幕板取付材(床板固定用)の取付け 」を参照してください。

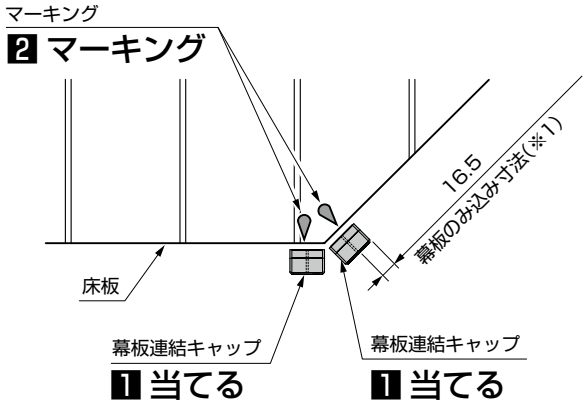


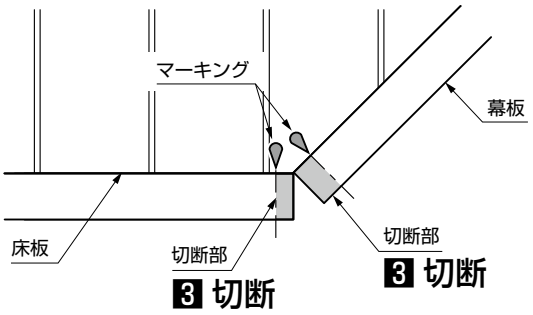
8-3-2 幕板の加工

施工上のお願い

- ●幕板フリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、90°～225°です。

1 幕板連結キャップを床板のコーナー部に当てる
2 幕板連結キャップの端部から16.5mmのみ込んだ位置(※1)の床板にマーキング
3 幕板をマーキングした部分で切断



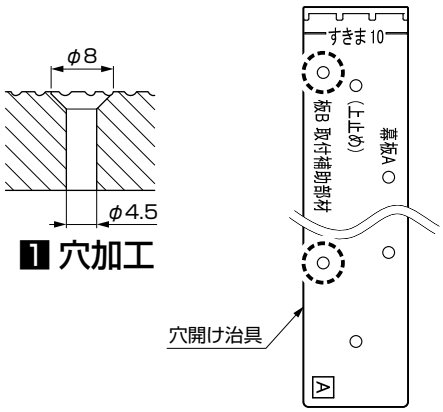


8-3 フリーコーナーの幕板の取付け

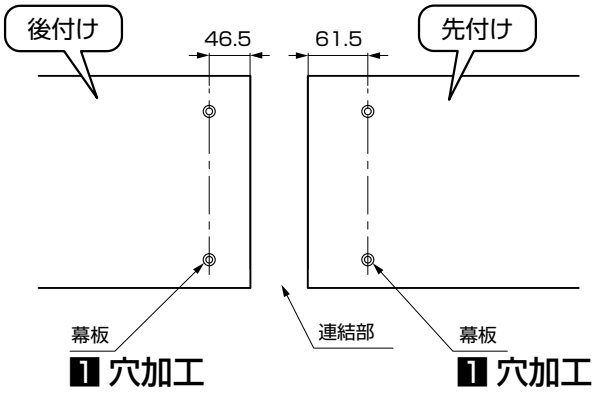
8-3-3 幕板の取付け

施工上のお願い

●下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れる原因になります。
●下穴を開ける際は穴開け治具の○印の穴を使って穴加工してください。

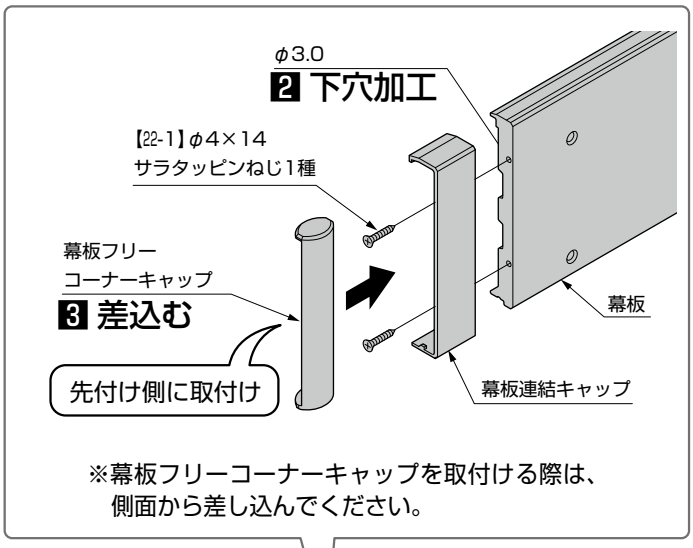


1 穴開け治具を使用して、幕板に下穴加工
2 幕板小口面にφ３の下穴をあけ、幕板連結キャップを幕板に【22-1】を1.0N・mで取付け
3 幕板フリーコーナーキャップを先付け側の幕板連結キャップに差込む
4 先付け側の幕板をコーナー幕板取付材（角度切り用）に【21-1】で取付け
5 後付け側の幕板を正面幕板取付材（床板固定用）に【20-1】で取付け

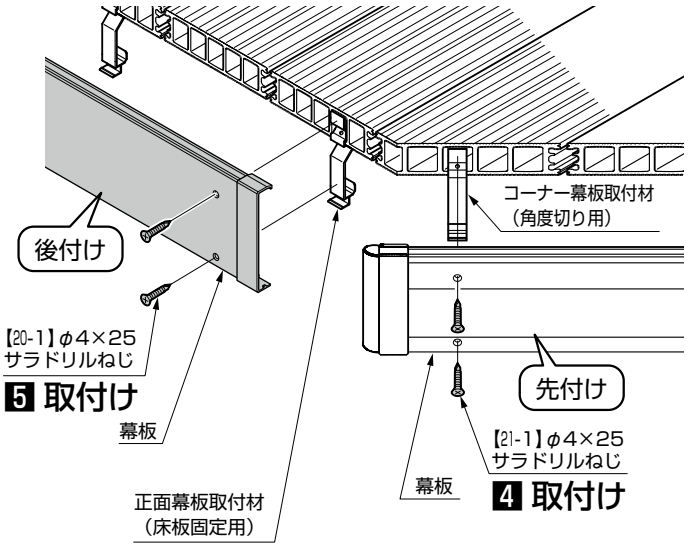


補足

●ネジはトルク1.0N・mで手締めで取付けてください。



※幕板フリーコーナーキャップを取付ける際は、側面から差し込んでください。



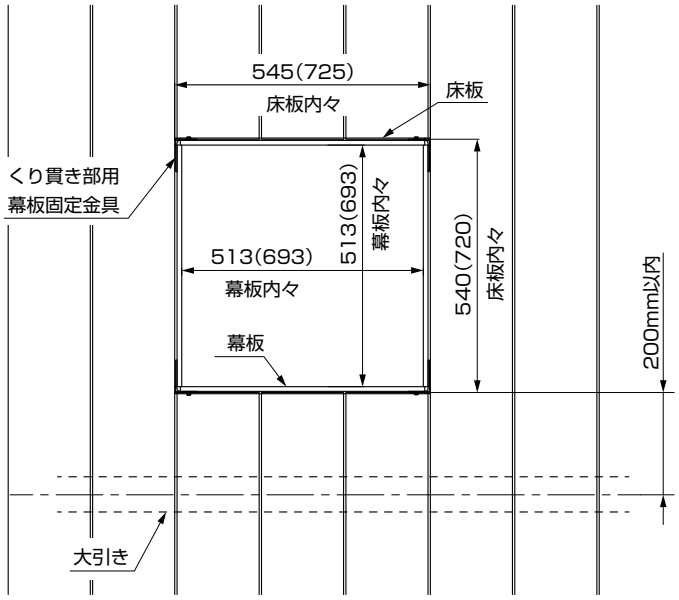
9 オプション

9-1 くり貫き部幕板の取付け オプション

9-1-1 くり貫き納まり図 ※( )は床板4枚分の場合の寸法です。

施工上のお願い

- ●デッキくり貫きが可能な寸法は、床板3枚分、もしくは4枚分です。
- ●くり貫き部の床板張出し寸法は、大引の芯から200mm以内としてください。



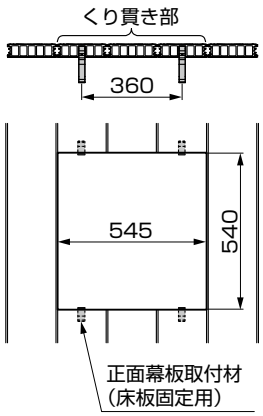
9-1-2 正面幕板取付材(床板固定用)の取付け

施工上のお願い

- ●下穴は、正面幕板取付材(床板固定用)に貫通させないでください。貫通したドリルで手を傷つけるおそれがあります。
- ●床板に内々寸法545mm×540mm、または725mm×720mmあいているか確認してください。
- ●床板3枚分の場合は、正面幕板取付材を両端の床板(中央のホロー部)に差し込んでください。
- ●床板4枚分の場合は、正面幕板取付材を両端の床板(中央のホロー部)と中央の幕板に差し込んでください。

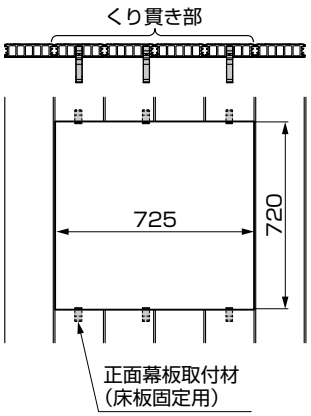
1 下記に注意して正面幕板取付材の取付け位置を位置決め
2 正面幕板取付材(床板固定用)を床板のホロー部にはめこみ、正面幕板取付材(床板固定用)の穴に従って床板下面と正面幕板取付材(床板固定用)にφ3.5の下穴加工
3 正面幕板取付材(床板固定用)を、床板のホロー部に【25-6】で取付け

●床板3枚分

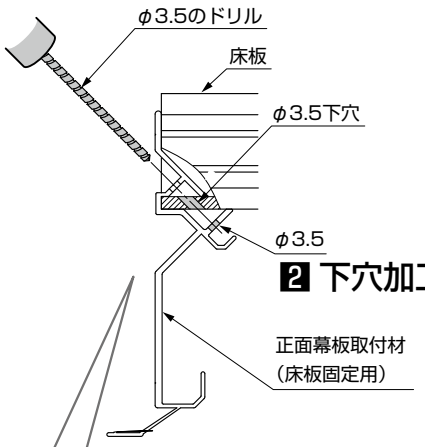


1 取付位置決め

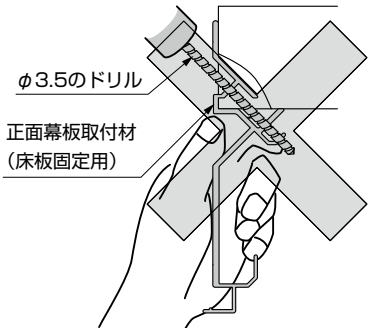
●床板4枚分



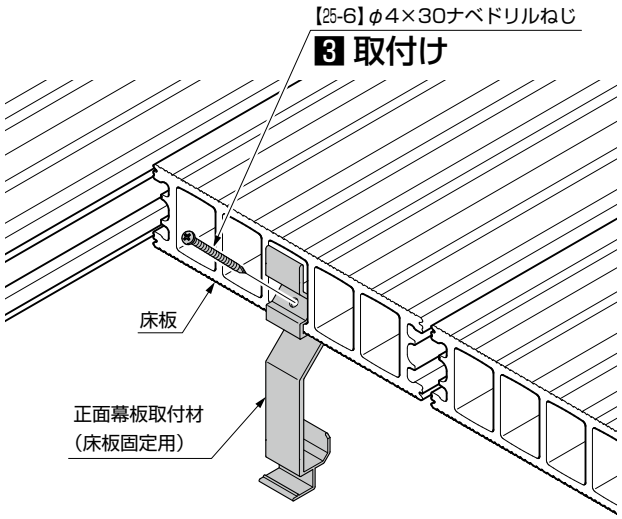
1 取付位置決め



2 下穴加工



●正面幕板取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら穴をあけてください。



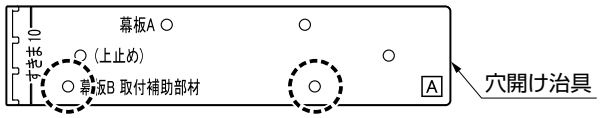
3 取付け

9-1 くり貫き部幕板の取付け オプション

9-1-3 幕板の取付け

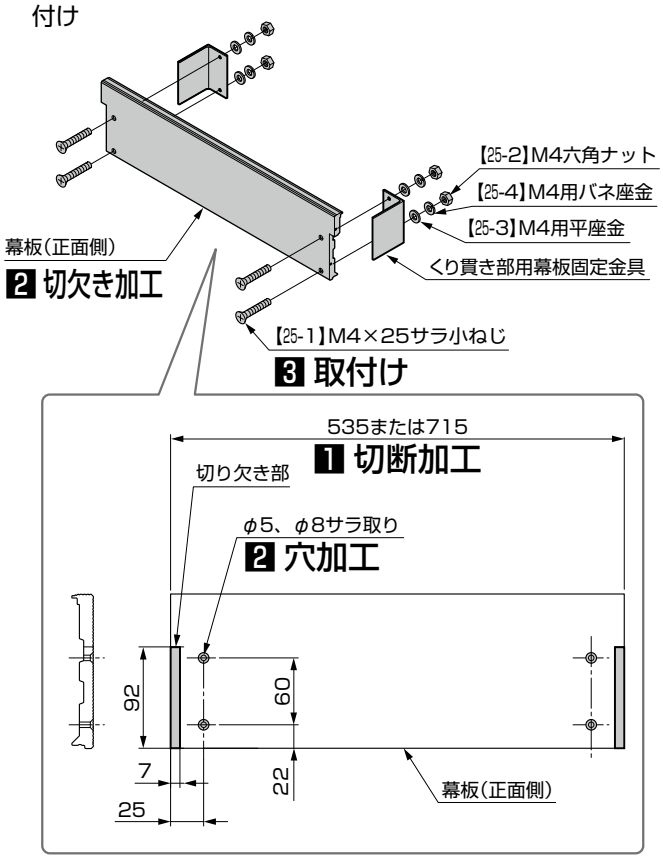
施工上のお願い

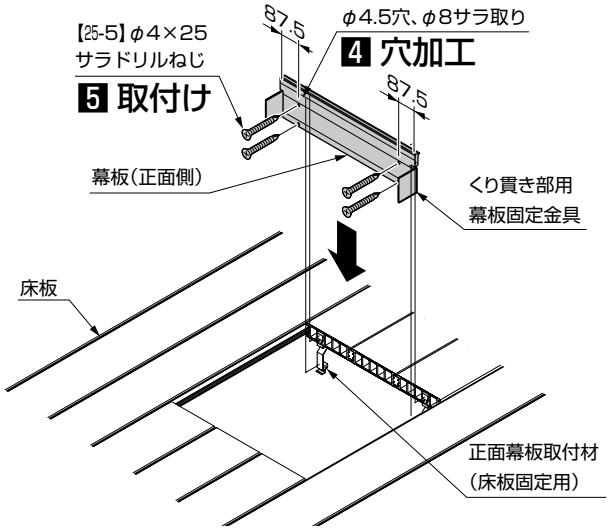
●穴開け治具の○印の穴を使ってください。



（1）正面側の取付け

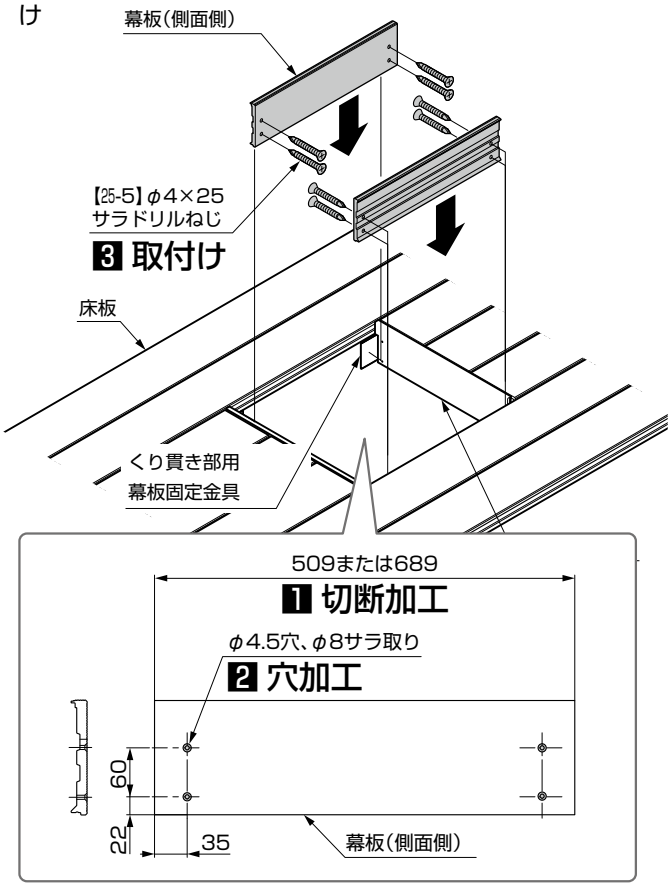
1 幕板を535mmまたは715mm幅で切断
2 幕板(正面側)の両端に切欠き加工をして、φ5の下穴とφ8のサラ取り穴加工(4か所)
3 幕板(正面側)の両端にくり貫き部用幕板固定金具を【25-1】、【25-2】、【25-3】、【25-4】で取付け
4 穴開け治具を使用して、幕板(正面側)にφ4.5の穴とφ8のサラ取り加穴工(4か所)
5 幕板(正面側)を正面幕板取付材(床板固定用)に、【25-5】で取付け





（2）側面側の取付け

1 幕板を以下の寸法で切断
(床板のくり貫き枚数　3枚分：509mm　4枚分：689mm)
2 穴開け治具を使用して、幕板(側面側)の両端にφ4.5の穴とφ8のサラ取り穴加工(4か所)
3 幕板(側面側)を、くり貫き部用幕板固定金具に【25-5】で取付け



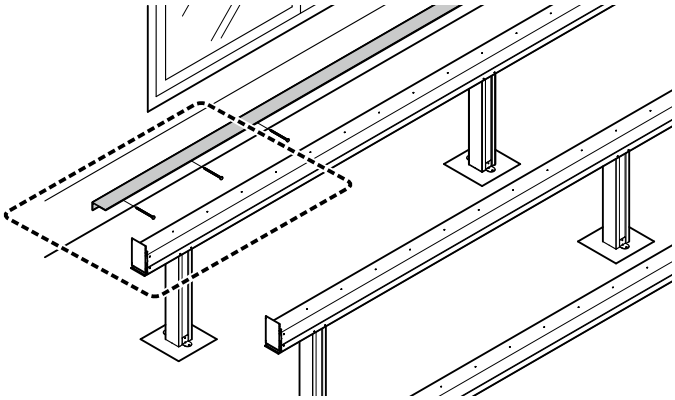
9-2 躯体付けアングルの取付け オプション

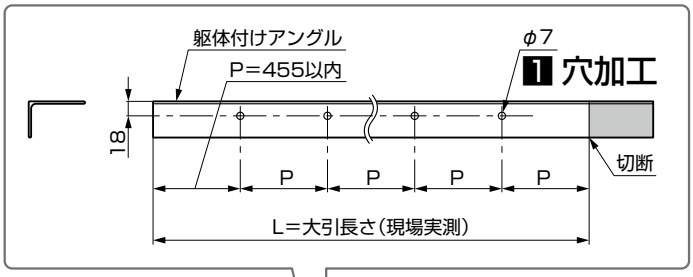
※躯体面と大引との距離が200mm超える場合の作業です。

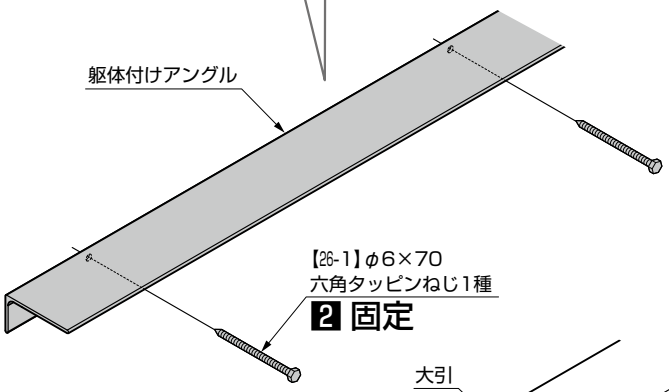
施工上のお願い

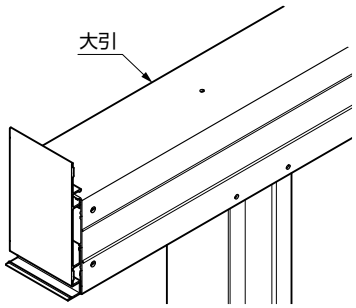
●躯体付けアング上面と大引上面の高さを同じにしてください。
高さが違うと床板が取り付きません。

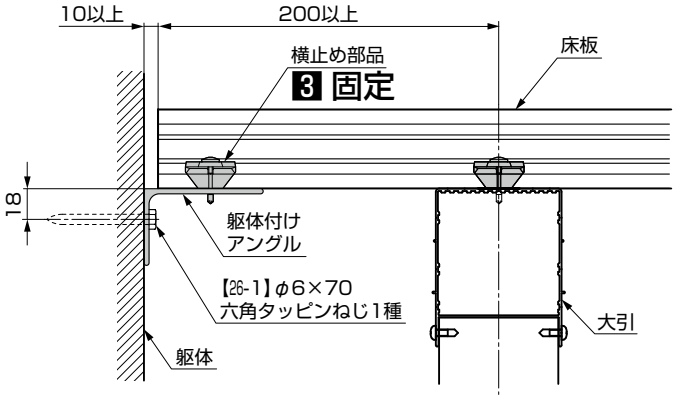
1 躯体付けアングルにφ7の穴を455mmピッチ以内であける
2 躯体付けアングルを躯体に【26-1】で固定
3 横止め部品で床板を固定









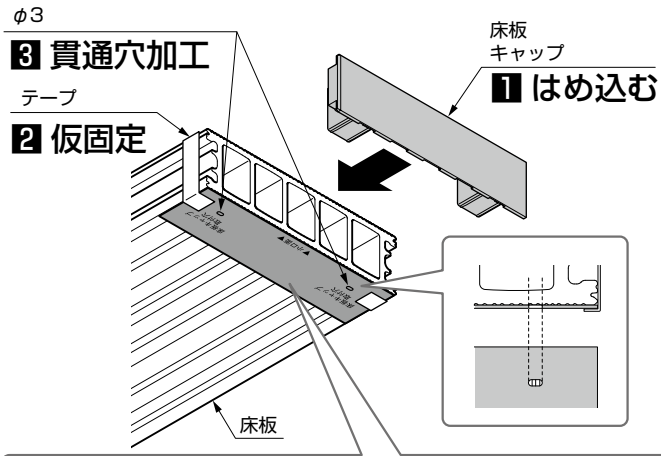


9-3 床板キャップの取付け オプション

※床板キャップを取付ける場合の作業です。

9-3-1 木彫タイプの場合

1 床板に床板キャップをはめ込む
2 穴開け治具を床板端部側面に合わせ、テープなどで仮固定
3 穴開け治具を使用し床板の溝になっている部分に下穴φ3の貫通穴加工
4 床板上面のφ4.5、φ8サラ取り加工(4 ヶ所)
5 床板キャップを【27-1】で1.0N・mで取付け



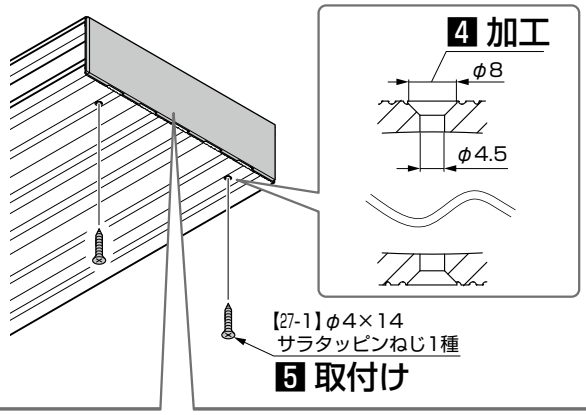
補足

●床板に貫通穴をあける際は、穴開け治具の〇印の穴を使ってください。



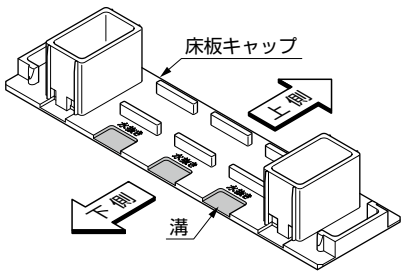
補足

●ネジはトルク1.0N・mで手締めで取付けてください。



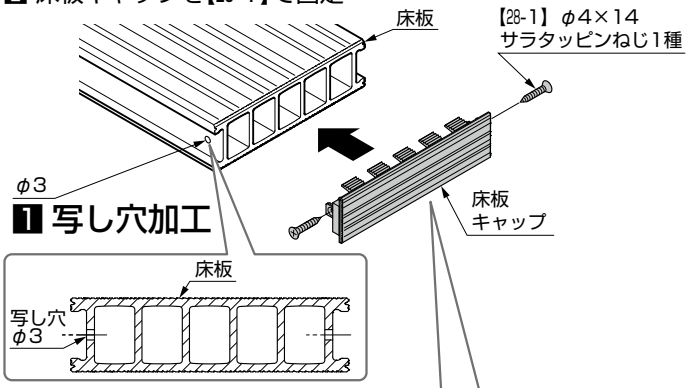
補足

●床板キャップには上下があります。溝のある方を下にしてください。



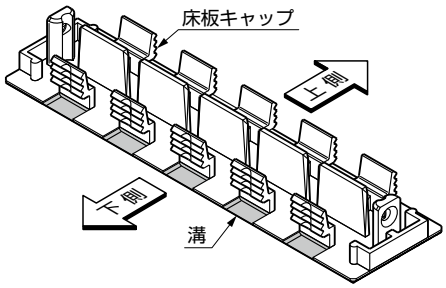
9-3-2 デッキDCの場合

1 床板キャップを床板に差し込み、φ3の写し穴加工
2 床板キャップを【28-1】で固定



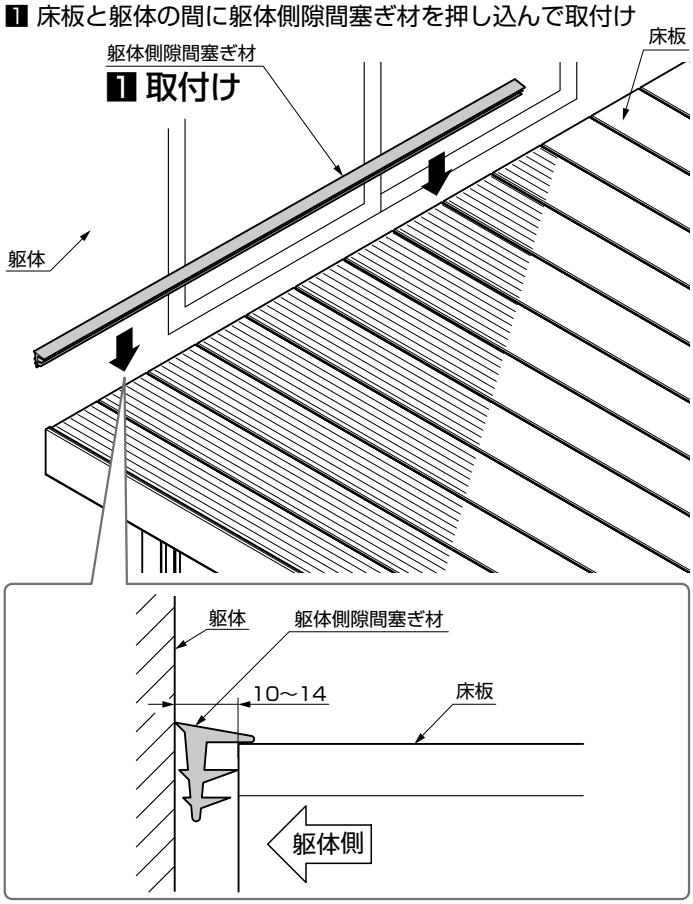
補足

●床板キャップには上下があります。溝のある方を下にしてください。



9-4 躯体隙間塞ぎ材 オプション

1 床板と躯体の間に躯体側隙間塞ぎ材を押し込んで取付け



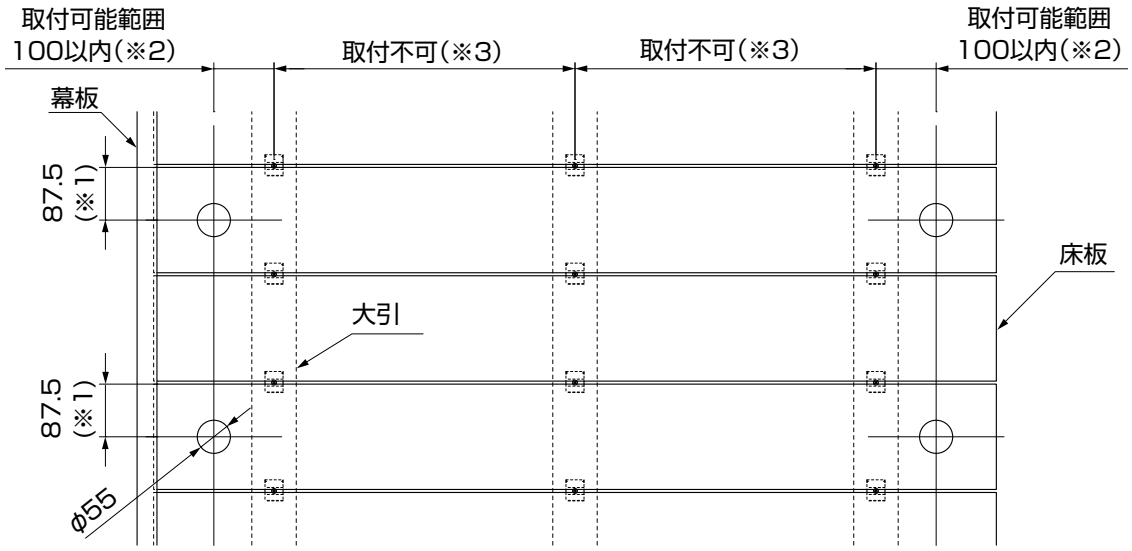
9-5 ポイントライトの取付け オプション

⚠ 注 意

●大引間(※3)には取付けないでください。床板が破損し、ケガをするおそれがあります。

●床板に取付ける場合

床板に取付ける場合の取付可能範囲は、床板幅の中央(※1)で、大引芯から100mm以内(※2)です。



●幕板に取付ける場合

幕板を大引固定する場合は、取付けできません。

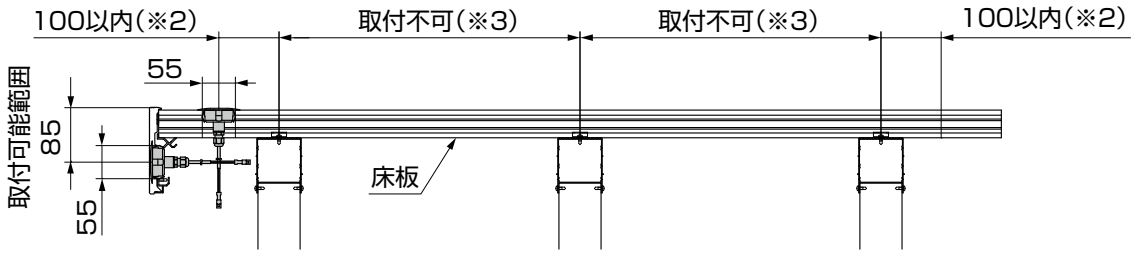


図5-1　幕板

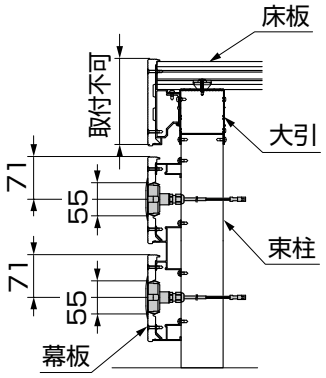


図5-2　多段幕板

1 ポイントライトを取付けるところにφ55の穴加工
2 ポイントライトに付属の取付説明書を参照して、ポイントライトを取付け

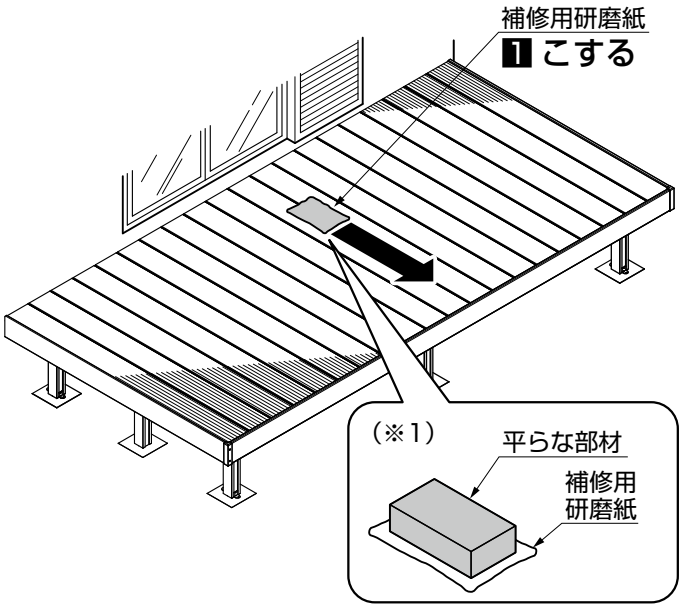
10 施工後の補修

10-1 床板の補修

施工上のお願い

- ●強くこすりすぎないでください。
- ●一定の方向にこすってください。
- ●1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- ●平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。（※1）

1 施工後、表面に付いたすりキズは図の研磨方向に補修用研磨紙でこする



補足

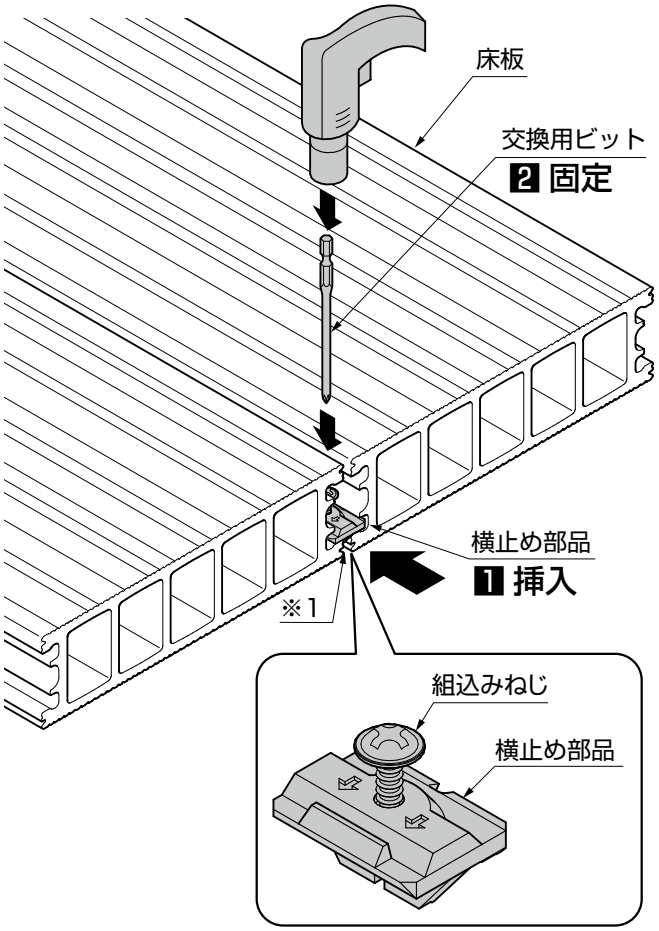
- ●市販の研磨紙を使用する場合は、60 ～ 80番の研磨紙を使用してください。

10-2 横止め部品の付替え オプション

※床板を全面施工後に横止め部品を大引に改めて固定する場合の作業です。

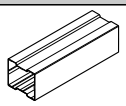
1 デッキ前面の目地の隙間（※1）から横止め部品を挿入

2 交換用ビットを目地上部から差込み、横止め部品を移動させ、大引に組込みねじで固定

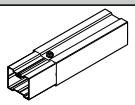
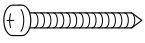


11 梱包明細表

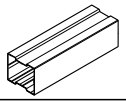
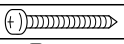
【1】束柱Aセット

名　称	略　図	員　数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱A		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
【1-1】φ5×35 セルフタップアンカー		1	4	6	9
【1-2】φ4×13 ナベドリルねじ		5	20	30	45

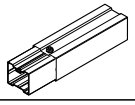
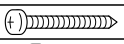
【2】束柱Bセット

名　称	略　図	員　数		
		1本入り	4本入り	6本入り
束柱B		1	4	6
束柱固定金具		1	4	6
【2-1】φ5×35 セルフタップアンカー		1	4	6
【2-2】φ4×19 ナベドリルねじ		9	36	54

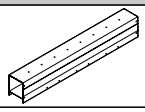
【3】ロング束柱Aセット

名　称	略　図	員　数	
		1本入り	4本入り
ロング束柱A		1	4
束柱固定金具		1	4
【3-1】φ5×35セルフタップアンカー		1	4
【3-2】φ4×13ナベドリルねじ		5	20

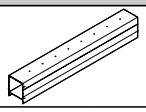
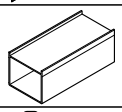
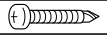
【4】ロング束柱Bセット

名　称	略　図	員　数	
		1本入り	4本入り
ロング束柱B		1	4
束柱固定金具		1	4
【4-1】φ5×35セルフタップアンカー		1	4
【4-2】φ4×19 ナベドリルねじ		9	36

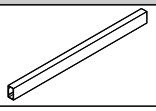
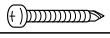
【5】大引セット

名　称	略　図	員　数	
		1本入り	2本入り
大引		1	2

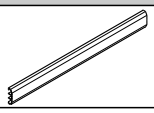
【6】大引セット(連棟用)

名　称	略　図	員　数	
		1本入り	2本入り
大引(連棟用)		1	2
大引スリーブ		1	2
【6-1】φ4×19ナベドリルねじ		9	17

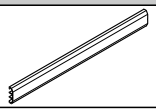
【7】筋交いセット

名　称	略　図	員　数	
		2本入り	3本入り
筋交い		2	3
筋交いキャップ		4	6
【7-1】φ4×25ナベドリルねじ		4	6

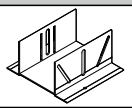
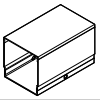
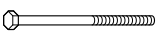
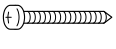
【8】根がらみ6尺、7尺　オプション

名　称	略　図	員　数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【8-1】φ4×19ナベドリルねじ		6	9

【9】根がらみ8尺、9尺、10尺　オプション

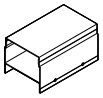
名　称	略　図	員　数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【9-1】φ4×19ナベドリルねじ		9	12

【10】土間施工部品セット

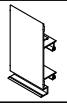
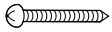
名　称	略　図	員　数		
		1個入り	4個入り	6個入り
大引支持台		1	4	6
大引スペーサー		1	4	6
スライドナット		1	4	6
【10-1】M6×90 六角ボルト		1	4	6
【10-2】M6バネ座金		1	4	6
【10-3】M6平座金		1	4	6
【10-4】φ5×35 セルフタップアンカー		2	8	12
【10-5】φ4×16 ナベドリルねじ		6	24	36

11 梱包明細表

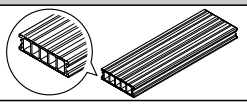
【11】土間施工 高さ調整部品セット

名　称	略　図	員　数		
		1個入り	4個入り	6個入り
大引補助 スペーサー		1	4	6
【11-1】φ4×16 ナベドリルねじ		4	16	24

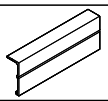
【12】側面幕板取付材セット

名　称	略　図	員　数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板取付材		1	3	5
幕板取付補助部材		2	4	6
【12-1】φ4×25 サラドリルねじ		6	12	18
【12-2】φ4×20 ナベタッピンねじ2種G=5		4	12	20
【12-3】φ4×30 トラスタッピンねじ1種		4	8	12

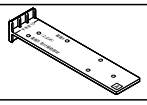
【13】床板セット

名　称	略　図	員　数		
		1本入り	2本入り	3本入り
床板		1	2	3

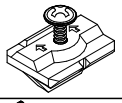
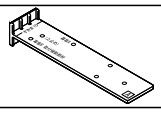
【14】正面幕板取付材セット(大引固定用)

名　称	略　図	員　数		
		1個入り	5個入り	8個入り
正面幕板取付材 (大引固定用)		1	5	8
大引取付部材		1	5	8
【14-1】φ4×25 サラドリルねじ		4	12	18
【14-2】φ4×13 ナベドリルねじ		4	20	32

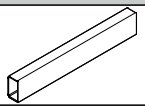
【15】床板取付部品セット

名　称	略　図	員　数		
		基本	追加40	追加20
横止め部品 (ドリルねじ組込済)		60	40	20
穴開け治具		1	—	—
補修用研磨紙		2	—	—
【15-1】φ4×12 ナベタッピンねじ1種		6	—	—
取付説明書〈EXM-251〉	—	1	—	—
取扱説明書〈EXM-218〉	—	1	—	—

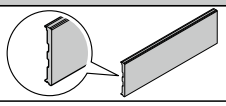
【16】床板取付部品セット(補修用)　オプション

名　　称	略　図	員　数	
		横止め補修	上止め補修
横止め部品		10	5
穴開け治具		1	1
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1
【16-1】φ4×65サラドリルねじ		—	20
取付説明書〈EXM-251〉	—	1	1

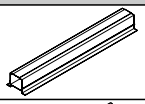
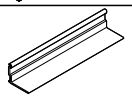
【17】床板縦切り用インナー材　オプション

名　　称	略　図	員　数
床板縦切りインナー材		1
【17-1】φ4×16サラドリルねじ		4

【18】幕板セット

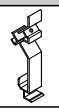
名　称	略　図	員　数	
		1本入り	2本入り
幕板		1	2

【19】補助根太セット　オプション

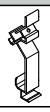
名　　称	略　図	員　数
補助根太		1
補助根太取付部品		4
ネジカバー		8
【19-1】φ4×13ナベドリルねじ		16

11 梱包明細表

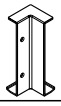
【20】正面幕板取付材セット(床板固定用)

名　称	略　図	員　数		
		2個入り	8個入り	11個入り
正面幕板取付材(床板固定用)		2	8	11
【20-1】φ4×25サラドリルねじ		6	18	24
【20-2】φ4×30ナベドリルねじ		2	8	11

【21】コーナー幕板取付材セット(角度切り用)　オプション

名　称	略　図	員　数
コーナー幕板取付材 (角度切り用)		2
【21-1】φ4×25サラドリルねじ		4
【21-2】φ4×30ナベドリルねじ		2

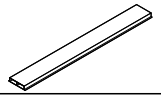
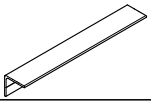
【22】幕板コーナーキャップセット

名　称	略　図	員　数		
		90°	入隅	フリー
幕板90°コーナーキャップ		1	−	−
幕板入隅コーナーキャップ		−	1	−
幕板フリーコーナーキャップ		−	−	1
幕板連結キャップ		−	−	2
【22-1】φ4×14サラタッピンねじ1種		2	2	4

【23】幕板ジョイントカバーセット

名　称	略　図	員　数
幕板連結キャップ		1
正面幕板取付材		1
【23-1】φ4×14サラタッピンねじ1種		2
【23-2】φ4×25サラドリルねじ		2
【23-3】φ4×30ナベドリルねじ		1

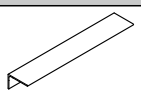
【24】床板補強材

名　称	略　図	員　数
床板補強材		1
大引アングル		4
ネジカバー		8
【24-1】φ4×13ナベドリルねじ		20

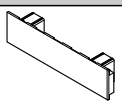
【25】くり貫き部用幕板固定金具セット　オプション

名　称	略　図	員　数
くり貫き部用幕板固定金具		4
正面幕板取付材(床板固定用)		8
【25-1】M4×25サラ小ねじ		8
【25-2】M4六角ナット		8
【25-3】M4平座金		8
【25-4】M4バネ座金		8
【25-5】φ4×25サラドリルねじ		24
【25-6】φ4×30ナベドリルねじ		8

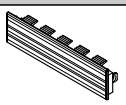
【26】躯体付けアングルセット　オプション

名　称	略　図	員　数
躯体付けアングル		1
【26-1】φ6×70六角タッピンねじ1種		6

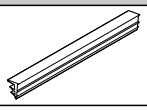
【27】床板キャップ(木彫タイプ)　オプション

名　称	略　図	員　数	
		2個入り	10個入り
床板キャップ		2	10
穴開け治具		1	1
【27-1】φ4×14サラタッピンねじ1種		4	20

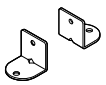
【28】床板キャップ(デッキDC)　オプション

名　称	略　図	員　数	
		2個入り	10個入り
床板キャップ		2	10
【28-1】φ4×14サラタッピンねじ1種		4	20

【29】躯体側隙間塞ぎ材　オプション

名　称	略　図	員　数
躯体側隙間塞ぎ材		1

【30】束柱固定金具セット　オプション

名　称	略　図	員　数
束柱固定金具		10
【30-1】φ5×35セルフタップアンカー		10
【30-2】φ4×13ナベドリルねじ		10

メモ

取説コード
EXM251
JZZ642206A
202603_1049
202607A_1100